

## 国際センター活動記録・データ集

---

### 【活動記録】

2010年度国際センター体制／関係委員一覧	101
2010年度国際センターの1年	102
国際センター通信Vol.11～16	104
2010年度留学生別科体制	124
2010年度留学生別科時間割表	126
2010年度留学生別科授業・講義 開講状況	128

### 【データ集】

交換留学生数推移（受入・派遣） 大学別	129
留学生数推移（受入） 在籍区分別	130
留学生数推移（受入） 所属別	131
留学生数推移（受入） 国別	134
短期受入プログラム参加人数	137
留学生別科 志願者・合格者・手続者・入学者数推移 国別	138
留学生別科学生進路先	141
交換留学生数推移（派遣） 学部別	142
私費留学生数推移（派遣） 学部別	143
BIEプログラム参加者数推移 学部別	143
私費留学生数推移（派遣） 国別	144
サマーセッション・スプリングセッション 参加人数	145

2010年度国際センター体制／関係委員一覧

国際センター長 落合雄彦（法学部教授） 留学生別科長を兼ねる

委員会名	選出元	国際センター長	国際事務部長(次長)	文学部	経済学部	経営学部	法学部	理工学部	社会学部	国際文化学部	短期大学部
国際センター会議 派遣留学生選考委員会 国費留学生選考委員会 京都府名譽友好大使選考委員会 私費派遣留学生奨励奨学金選考委員会	教授会選出  留学生別科	落合 雄彦	津守 淨子	安藤真次郎	大原 盛樹	WHITE, Sean Allan	富野暉一郎	中沖 隆彦	堀田 知子	チャブル・ジュリアン	加藤 博史
第一次派遣留学生選考委員会		落合 雄彦				(陪席) 北川 逸子					
留学生別科運営会議	教授会選出	落合 雄彦	津守 淨子	安藤真次郎	大原 盛樹	李 洙任	西川 靖二	岡本 雄二	小椋 博	劉 虹	加藤 博史
	授業担当委員				田尻 英三		稲垣 宏明	竺 文彦		松居 竜五	
留学生別科入試小委員会		落合 雄彦			田尻 英三	北川 逸子	稲垣 宏明 西川 靖二				
沼田奨学金委員会	部局長会 (総務局長を除く)	議長：学長 副議長の長として副議長									
センター年報編集委員会		落合 雄彦		安藤真次郎	田尻 英三		稲垣 宏明				
RUBeC 教務会議 ( 教 学 部 主 管 )		落合 雄彦 (国際センター長)	太田 功 (瀬田教学部次長)		ロザーティ・サイモン (英C)		村田 和代 (京都英語科目)	藤原 学 (T教務主任)			阪口 春彦 (S教務主任)
		小瀬 一 (教学部長)	東澤 雄二 (教学部次長)					竹内 綱史 (京都人文)			
		青山 豊 (瀬田教学部長)	津守 淨子 (国際部次長)					大槻 志郎 (瀬田英語科目)			

国際部次長 津守淨子  
国際部 世雄理博 園 成夫 山脇直子 一橋未来 黄 曉瑛 広田真代 森 亜希子 LIM TENG TENG

## 2010年度国際センターの1年

4月1日 木 入学式（別科13名・交換生21名）  
4月6日 火 別科常任会  
4月9日 金 第1学期授業開始  
4月14日 水 チューター・ミーティング①  
4月16日 金 別科9月入試出願開始（～5/7）  
4月23日 金 国際センター会議①  
4月28日 水 Welcome Party（2地下）

---

5月7日 金 別科常任会  
5月10日 月 別科運営会議①  
5月20日 木 チューター・ミーティング②  
5月28日 金 国際センター会議②  
5月31日 月 別科運営会議②

---

6月8日 火 別科フィールドトリップ（国立民族学博物館）  
6月17日 木 チューター・ミーティング③  
6月18日 金 国際センター会議③

---

7月2日 金 広島平和プログラム  
7月3日 土 広島平和プログラム  
7月4日 日 広島平和プログラム  
7月15日 木 チューター・ミーティング④  
7月16日 金 国際センター会議④  
7月22日 木 第1学期授業終了  
7月28日 水 別科常任会、フェアウェルパーティー（4地下）

---

8月3日 火 日本語担当者会議①  
8月4日 水 国際センター会議⑤、チューター・ミーティング⑤  
8月6日 金 別科運営会議③

9月9日 木 チューター・ミーティング⑥  
9月17日 金 修了証書授与式（別科11名）・入学式（別科18名・交換生49名）  
9月24日 金 第2学期授業開始、国際センター会議⑥、別科4月入学出願開始（～10/15）

---

10月2日 土 ウェルカムパーティー（4地下）  
10月14日 木 チューター・ミーティング⑦  
10月15日 金 別科常任会、Welcome Party（4地下）  
10月26日 火 別科フィールドトリップ（奈良）

---

11月8日 月 別科運営会議④  
11月11日 木 チューター・ミーティング⑧  
11月12日 金 国際センター会議⑦

---

12月14日 火 留学生交流会年末パーティー  
12月16日 木 チューター・ミーティング⑨  
12月17日 金 国際センター会議⑧  
12月21日 火 国際センター会議⑨（持ち回り開催）

---

1月14日 金 チューター・ミーティング⑩、国際センター会議⑨  
1月19日 水 第2学期授業終了  
1月26日 水 フェアウェルパーティー（4地下）  
1月27日 木 別科常任会

---

2月1日 火 日本語担当者会議②  
2月4日 金 国際センター会議⑩  
2月7日 月 別科運営会議⑤  
2月21日 月 チューター・ミーティング⑪

---

3月4日 金 国際センター会議⑪  
3月9日 水 チューター・ミーティング⑫  
3月18日 金 修了証書授与式（別科25名）



# 国際センター通信

Vol. 11 (発行日 2010.4)

編集・隔月発行

龍谷大学国際センター

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67

TEL: 075-645-7898 FAX: 075-645-2020

http://intl.ryukoku.ac.jp/



## ●アリゾナ州立大学（アメリカ合衆国）と学生交換協定を締結！！

アリゾナ州立大学（以下、ASU）は、アメリカ合衆国アリゾナ州テンピにある、学生数 65,000 人の大規模大学です。経営、デザイン、教育、工学、ジャーナリズム、法学、文学、看護学、先端科学など幅広い学部展開がなされています。また、留学生を積極的に受入れており、正規留学生は約 3,000 名、交換留学生は約 150 名が同大学で学んでいます。ASU とは、2008 年よりブラドリー前国際センター長の提案により、学生交換協定締結に向けての協議を開始し、事務局にて条件面の調整を行った結果、学生交換協定を締結することになりました。

大学の詳細などについては、「2010-2011 版 地球がキャンパスだ！龍谷大学留学ガイド」にてご覧下さい。「留学ガイド」は国際センターにて無料配布中です！

### 【学生交換協定の主な受入条件】

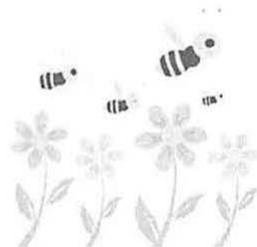
派遣人数	派遣期間	条件			
		学費	宿舎	奨学金	語学条件
2 名	2011 年 8 月～ 2012 年 5 月	免除 ※	提供 (有料)	無	選考された場合、iBT79 点以上が必要。61～78 は語学学校（有料）+交換プログラム（無料）

※学部授業については、学費免除。但し、語学学校は有料です。

## ●交換留学生、留学生別科生、JAS 生 合計 37 名が入学しました！！

2010 年 4 月入学の交換留学生 21 名、留学生別科生 13 名、JAS (Japanese and Asian Studies) 生 3 名の合計 37 名が入学しました。今後、それぞれのプログラムに参加し、各自の専門分野や日本語・日本文化について学習を進めていくこととなります。

国籍	所属				総計
	JAS	交換	別科		
アメリカ	1	1			2
イタリア	1				1
カナダ		1			1
シンガポール		2			2
タイ		3	1		4
デンマーク		3			3
ドイツ	1				1
フィンランド		1			1
韓国		8			8
台湾			3		3
中国			9		9
オーストラリア/日本※二重国籍			2		2
総計	3	21	13		37



### 【交換留学生データ 派遣元大学×龍大での所属学部】

大学	学部					総計
	経営	国際文化(院)	国際文化	文	法	
アサンブション大学	2					2
オーフス大学				2		2
クワントレンポリテクニク大学			1			1
チュラロンコン大学		1				1
マードック大学	4				1	5
東フィンランド大学				1		1
東亞大学				2		2
東國大学(キョンジュ/ソウル)				6		3
米国仏教大学院		1				1
総計	6	2	1	11	1	21

◎◎交換留学生の紹介は、次ページに掲載しています！どうぞご覧下さい。◎◎

## ●馬振傑（国際文化学部）さんが2期生代表挨拶をしました。

代表挨拶をする馬振傑さん

2010年3月17日（水）、経済産業省主催事業アジア人財資金構想（高度実践留学生育成事業）の第2期生修了式がメルパルク京都で行われ、京都地域の大学から25名が出席しました。来賓挨拶に続き、馬振傑（国際文化学部）さんが2期生を代表して挨拶をしました。その後、全員が、育成事業を通じて成長してきた2年間の振り返り、これから日本企業で働くことへの期待を込め、意気込みを語りました。就職活動を通じて泣いたり笑ったり励まされたりした経験を通じて、本当に大きく成長した姿が印象的でした。それぞれの新たなスタートに心から拍手を送りたいと思います。ちなみに、9名の修了生の内、6名が就職・3名が進学しました。



## ●「龍谷大学の留学制度がわかる！」

～2010年度留学キャンペーン in Spring を開催中です！！

龍谷大学の充実した海外留学制度を1人でも多くの学生に知ってもらおうと「留学キャンペーン in Spring」をただ今開催中です。屋外での広報活動（Open Air 留学説明会）にはじまり、交換留学やBIE Programといった個々のプログラムに係る説明会を約3週間に渡り実施いたします。期間中は実際に海外留学を経験した学生や現在本学で受入れている外国人留学生にも協力を仰ぎ、学生スタッフとして活躍してもらっています。

春のキャンペーンは、特に大学生活に大きな期待を寄せる新入生がたくさん参加してくれています。このキャンペーンを機にひとりでも多くの学生が留学や国際交流に興味を持って、これからの新たな学生生活を充実したものにしてくれることを願います。



受入留学生は自分の国や大学を紹介！



日本人の帰国留学生も大活躍！



## ●「2010-2011版 地球がキャンパスだ！龍谷大学留学ガイド」が完成しました！

いつでもどこでも龍谷大学の留学制度を知ってもらい、イメージできるよう毎年発行している「留学ガイド」が今年も完成しました。毎年、サイズやデザイン等にもこだわり、「手軽に持ち歩ける」、「かわいい」と本学の学生からはもちろん他大学からも評判の一冊です。留学を志す学生必携の内容となっておりますので、学生はもちろん、日頃学生指導にあたる教職員の方々にもぜひ手にとっていただきたいと思います。

なお、「留学ガイド」は各学部教務課窓口および国際部にて手に入れることができます。

2010年度「留学ガイド」



主な内容は以下のとおり。

- ・世界で活躍する本学OB/OG  
（留学経験者）紹介
- ・留学制度についての概要
- ・学生交換協定校紹介
- ・学生留学体験記
- ・本学の国際交流に関するデータ etc

留学を志す学生は必携！



◎次号の国際センター通信は、2010年6月発行予定です！お楽しみに！◎



# 国際センター通信

Vol. 12 (発行日 2010.6)

編集・隔月発行

龍谷大学国際センター

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67

TEL:075-645-7898 FAX: 075-645-2020

http://intl.ryukoku.ac.jp/



Ryukoku University International Center Newsletter

## ●学生交換協定校の2名の先生が、『最優秀教育賞』を受賞！！

スリランカ首相とタナサーンセーニ美香先生

アサンブション大学(タイ)との交流で、本学からの派遣留学生が大変お世話になっている、タナサーンセーニ美香先生(本学卒業生)が、The Association of Southeast Asian Institutions of Higher Learning の Best Lecturer (Humanity) Award 2009 を獲得されました。

また、マードック大学(オーストラリア)でも、両大学の国際交流を支援していただき、本学からの派遣留学生が大変お世話になっている森山武先生が、Murdoch University Vice-Chancellor's Citations for Excellence in Enhancing Learning という、マードックでの「学生の学習促進に関する業務における学長賞」を受賞され、連邦政府の Australia Learning and Teaching Council の選考に進まれることになりました。おめでとございます。今後ともよろしく願います。



シヨウビツ学長と森山武先生

## ●ハワイ大学マノア校学長が本学を訪問されました。

ハワイ大学マノア校より、ヴァージニア・ヒンショー学長一行が本学を訪問されました。本学からは、橋正信理事長、若原道昭学長、西垣泰幸副学長、落合彦彦国際センター長などが一行を出迎え、大宮学舎本館において、今後の両大学間の国際交流などについて活発な意見交換を行いました。

ハワイ大学は、太平洋のほぼ中央に位置するハワイ諸島に10のキャンパスを持つアメリカの州立大学です。マノア校は、そうしたハワイ大学システム全体のなかでも最も知名度の高い教育研究機関であり、特に外国語教育研究、植物バイオテクノロジー、海洋学、天文学などの分野では全米トップレベルに位置しています。

本学とハワイ大学マノア校は1979年に学生交換協定を締結しましたが、その後、実質的な交流が一時途絶えていました。しかし、2010年に入って本学関係者がハワイ大学マノア校を訪問したことを契機に、両大学間の交流が急速に進展しました。そして本学は、ハワイ大学マノア校のリード・ダーセンプロック副学長を海外協定校代表として2010年度入学式にお招きし、同副学長に新入生に向けたスピーチを行っていただきました。また、5/11には、橋理事長がハワイ大学マノア校日本研究センターを訪問し、ダーセンプロック副学長を含むハワイ大学の教職員ならびに学生のみなさんから歓待を受けました。



今回の懇談では、1979年に締結された学生交換協定の内容を一新し、今日的なニーズに合致した新たな協定を締結するための検討を開始する、という方向性が両大学間で確認されました。懇談後、ハワイ大学マノア校学長一行は、橋理事長の案内のもと本願寺を参拝され、昨年3月に大修復を終えた御隠堂や国主の飛雲閣を見学されました。若原学長は、龍谷大学校友会/ハワイ支部総会(8月27日開催予定)に伴い、ハワイ大学を訪問する予定です。今後も引き続き、本学とハワイ大学マノア校とのパートナーシップが強まっていくことが期待されます。

## ●2010(平成22)年度京都府名誉友好大使に本学から4名が選ばれました！

京都府名誉友好大使とは、京都府内で勉学する外国人留学生で、京都府との「かけ橋」としての役割を果たすという意欲のある者を「京都府名誉友好大使」に任命し、研修・視察への出席や、府・市町村・民間団体等の国際化諸行事への参加・協力大使自身の企画・運営による国際交流活動など、京都府の国際化推進事業に協力をする役目を担っています。2010年度は、本学の学内選考、京都府での第一次選考、第二次選考を通過した以下の4名が京都府名誉友好大使に任命されました。

- ◎ 娜仁\*雅(ナレントヤ)さん(経済学部3回生/内モンゴル)
- ◎ 李花(リ・カ)さん(経営学部3回生/中国)
- ◎ 黄環(コウ・ケイレイ)さん(経営学部4回生/中国)
- ◎ 李敏明(リ・ピンメイ)さん(経営学研究科M2回生/中国)

名誉友好大使として  
がんばります！



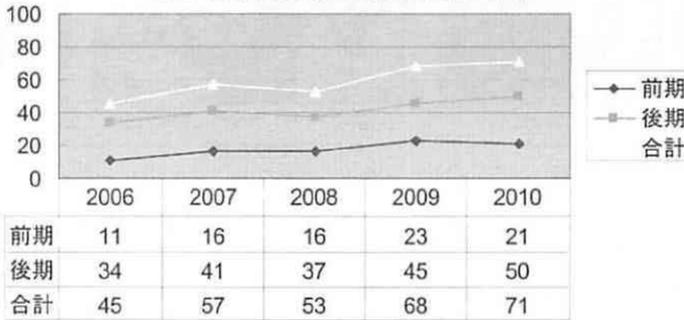
●2010（平成22）年度後期 交換留学生の受入について（速報！）

2010年9月入学の交換留学生の受入が決定しました。過去最高の50名となります。

【受入交換留学生データ 派遣元大学×龍大での所属学部】

大学(カタカナ)	経営学部	経済学部	国際文化学研究所	国際文化学部	文学研究科	文学部	法学部	理工学部	総計
RMIT大学				1					1
アイタホ大学							1		1
アリゾナ州立大学		1							1
ウェストミンスター大学	1								1
カリフォルニア州立大学ノースリッジ校		2							2
カルガリー大学							1		1
キエフ大学						1			1
バルセロナ自治大学	1					1			2
ヒューロン・ユニバーシティ・カレッジ				2					2
モスクワ大学アジアアフリカ学院						2			2
リネウス大学	1								1
リバプール・ジョン・ムアーズ大学	2						1		3
リヨン第3大学						2			2
ワルシャワ経済大学				1					1
上海師範大学						2			2
台湾師範大学						2			2
大連外国語大学					3				3
大連外国語大学日本語学院	5								5
大連工業大学	4								4
中国人民大学			1		1				2
東フィンランド大学						3		1	4
東亜大学				2		2			4
同済大学						1			1
南ミズーリ州立大学							1		1
米国仏教大学院					1				1
総計	14	3	1	6	5	16	4	1	50

2006年度からの受入交換留学生 推移



●2010年度4月入学 留学生ウェルカムパーティを行いました！

2010年4月に交換留学生21名、留学生別科生13名、JAS（Japanese and Asian Studies）生3名の合計37名が入学し、4/28に留学生ウェルカムパーティを実施しました。新入留学生、在学留学生、留学生寮チューターなどを合わせて、合計約60名が参加し、大盛況のパーティとなりました。パーティでは、龍谷大学、国際部、日本のエンターテインメントなどに関するクイズが行われ、優勝者に、龍谷大学オリジナルグッズがプレゼントされました。◎こんなクイズが出されました◎



次のうち、京都に本社がある会社は？  
1:Panasonic 2:TOYOTA 3:Nintendo 4:カルビー

日本で一番高い山は富士山ですが、一番大きな湖はどこ？

京都市のお菓、宇治市にある10円玉に描かれていることで有名な建物は？

昔話「ももたろう」で主人公ももたろうが仲間に配った食べ物の名前は？

●学生留学サポーターによる留学説明会を開催しました！！

「龍大生にもっと海外へ目を向けてほしい！！」◎

「自分たちの経験を留学希望者に活かしてもらいたい！！」◎

こんな思いからスタートした学生による学生のための留学説明会を深草学舎中央ステージにて5月24日、26日、28日の3日間開催しました。本学留学制度を説明するのは交換留学やBIE Programといった本学の留学制度を活用して留学した「学生留学サポーター」の学生たち。この日のために何度も集まりミーティングを重ね、「どうすれば学生に興味を持ってもらえるだろうか?」と思索し続けてきました。

当初、国際館内で行う予定だった説明会も、「国際交流の裾野を広げたい」という強い思いから屋外の中央ステージでやろう、さらにはLED(中央広場大スクリーン)を活用して留学のイメージを伝えようということになり、たくさんの写真を持ち寄って、披露しました。

留学先のロゴが入ったカレッジTシャツやパーカーに身を包み、立ち寄る学生に笑顔で声を掛けると、どんどんテーブルが埋まっていき、参加者が興味深く聴き入る姿がとても印象的でした。

彼等の取り組みに共感を得た海外からの受入留学生も助っ人として参加してくれて、話を聞いた学生は留学への思いを一層強めてくれたことと思います。

今後も彼らによる企画を立ち上げ、本学の一層の派遣留学促進を実現していきます。学生留学サポーターの活躍どうぞご期待下さい。



学生留学サポーターの学生たち



「留学ガイド」を使って自分たちの経験をPR



これから色々な企画を立ち上げます！

●お昼ごはんを食べながら英語でおしゃべり! Lunch Time English!!

英語を話せるようになりたい、留学で培った英語力をキープアップしたいという要望にお応えして、毎週木金のお昼休み、「Lunch Time English」を国際館随談室で開催しています。

この企画は、短期大学部の大場智美講師コーディネートの下、短期大学部生を中心に、受入留学生も交え、英会話スキルアップを目的としてスタートしました。毎回、異なるテーマを掲げ、ディスカッションしています。参加者の学生が一生涯懸命に英語で思いを伝えようと苦心している姿や、友人・留学生にヘルプを求める姿がとても印象的でした。現在は短期大学部以外の学生にも対象を拡大しています。



参加者の様子



留学生も参加しています。

短大以外の学部生で参加を希望する人は国際館で事前に申込(先着順)が必要です。参加希望の方は国際館設置の受付用紙に学籍番号と名前を記入して下さい。



●**BIE (5-week summer/Fall semester) Program の参加者が決定しました**

2010年度のBIE Programのうち5-week summer 20名、Fall semester 25名の参加が決定しました。参加者達はこれから留学までの間、パークレーでの学修に備え、語学力はもちろんのこと、プレゼンテーション能力向上に向けた事前授業に取り組みます。また、今年度から事前授業の一環として参加者を対象とした1泊2日の語学研修「BIE Weekend」をセミナーハウスともいぎで実施いたします。後期には5-week spring、Spring semesterの募集も始まります。是非応募して下さい！

**BIE Program とは?** (・・・詳細は「留学ガイド」P.26～29参照)

アメリカカリフォルニア州パークレーで行う英語学習、インターンシップ、講義を組み合わせた本学独自の留学プログラムです。5週間の5-week Program (春休み夏休み)と半年間のSemester Program (前期後期)があります。5-week Programは最大6単位、Semester Programは最大18単位の認定が可能

●**短期受入プログラム：南ミズーリ州立大学 (USA)、クワントレンポリテクニク**

**大学 (カナダ)、カリフォルニア大学デービス校 (USA) の実施について**

国際部では、学生交換協定から、数週間～1ヶ月程度の短期留学プログラムを積極的に受け入れ、本学学生に「日本にいながらにしての国際交流」の機会を提供しています。今年、①「5/25～6/20：南ミズーリ州立大学 (隔年開催) 7名」、②「6/2～11クワントレンポリテクニク大学 (2010年度新規受入) 14名」、③「カリフォルニア大学デービス校 (1991年から毎年開催) 26名」を受け入れしています。各プログラムでは、深草学舎での日本語学習のほかに、寺社仏閣や歴史的建築物の見学や茶道などの文化体験などを含めたフィールドトリップを行なっています。

各プログラムには、本学学生が「学生バディ」(南ミズーリ州立大学バディ 14名、クワントレンバディ 28名、UCバディ 26名)となり、留学生の日本での生活を支援しながら国際交流しており、授業時間外や週末などを活用して、積極的な活動を行なっています。

6/4 (金)には、南ミズーリ州立大学、クワントレンポリテクニク大学、学生バディが参加し、約80名のウェルカムパーティを行ないました。パーティでは、龍谷大学中縄三線サークル「うみんちゅ」による沖縄音楽の演奏があり、留学生たちは、J-POPとは違った、日本の伝統音楽の魅力に気づいてくれたことと思います。



(写真左：クワントレンとのランチタイム交流会、写真中&右：南ミズーリ、クワントレン合同パーティ)

●**「国立民族博物館 (みんぱく)」にて留学生別科フィールドトリップを実施!**

6/8に、留学生別科、JCLPの授業の一環として、国立民族博物館 (みんぱく)へフィールドトリップに行きました。みんぱくは、博物館をもった民族学・文化人類学の研究所で、世界の諸民族の社会と文化およびグローバル化現象に伴うそれらの変化について研究をおこなっている施設です。留学生別科の初級・中級クラスを中心とし、約80名の学生が展示や標本、世界各国の民族衣装などを見学しました。

留学生別科では、教室で授業を受けるだけでなく、このようなフィールドトリップや茶道、書道などの文化体験を通して、日本語や日本文化の学習・理解を進めています。



◎次号の国際センター通信は、2010年7月下旬発行予定です！お楽しみに！◎



# 国際センター通信

編集・隔月発行

龍谷大学国際センター

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67

TEL:075-645-7898 FAX: 075-645-2020

http://intl.ryukoku.ac.jp/



Vol. 13 (発行日 2010.7)

## ●東海大学(台湾)と学生交換協定を新規締結!!

東海大学(1865年設立)は、台湾・台中市にある、学生数約20,000人の私立大学で、文学部(外国語・外国文学含む)、理学部、工学部、マネジメント学部、社会科学部、農学部、デザイン学部、法学部の8学部を有しています。いずれの学部も教育水準は非常に高く、留学生に対して、International Buddy Programが組まれるなど、国際交流も盛んに行なわれている大学です。



東海大学では、国立台湾師範大学と同様、中国語および一部の授業を英語で学修することができ、寮費などの生活費が欧米圏に比して安価であるというメリットがあります。中国語学習や英語教育学に関心のある学生にお勧めの協定校です。

留学に関する詳細は、国際部にてチェックして下さい。1次選考は、10月上旬に実施の予定です。

### 【学生交換協定の主な受入条件】

所属	受入人数	授業料	寮	奨学金	受入開始(予定)
東海大生	2名	免除	学生負担	なし	2011年4月
龍大生	2名	免除	学生負担	なし	2011年2月

## ●大連外国語大学日本語学部(中国)と本学経営学部が学生交換協定を新規締結!!

龍谷大学経営学部では、2008年度以降の入学生対象のカリキュラム改革の一環として、他大学や企業と共同して開講するプログラム科目を行なっています。その1つに「現代中国のビジネス」という科目があります。この科目の更なる充実を目指して、本学経営学部と大連外国語大学日本語学院との間で、学生交換協定を締結しました。

また、本協定に基づき、大連外国語大学日本語学院から受け入れた学生を対象に、本学経営学研究科の特別入学試験を実施し、経営学研究科の正規学生として入学させることも予定しています。交換留学のみならず、本学経営学部との共同教育プログラムの実施、経営学研究科が質の高い学生を確保するための施策としても大変有益な協定となることが期待されます。



## ●シエラレオネ大学(シエラレオネ共和国)と一般協定を新規締結!!

シエラレオネ大学(The University of Sierra Leone)は、アフリカ北西部に位置するシエラレオネ共和国にある国立大学であり、3つのコレッジ(Fourah Bay College(フォーベイコレッジ)、Institute of Public Administration and Management(IPAM、行政管理学院)、College of Medicine and Applied Health Sciences(COMAHS、医学部)で構成された研究・教育機関です。本大学の総長は、シエラレオネ共和国大統領が務めています。本学にとっては、2007年度に学生交換協定を締結した「クワズール・ナタール大学」(南アフリカ共和国)に続き、アフリカでは2校目の協定校となります。

本学は、アジア・アフリカ地或研究で豊富な実績を持つ教員を多数前え、法学・経済学・国際文化学の3つの研究科が共同で運営する、国内私大唯一のアジア・アフリカ総合研究プログラムを大学院修士課程の共通プログラムとして開講しています。シエラレオネ大学と一般協定を締結することで、本プログラムを履修する学生のフィールドワークの現場を広げたり、アフラシア平和開発研究センターとの学術交流など、より活発な教育・研究交流が推進されることが期待されています。

シエラレオネ共和国  
は、ココです◎



## ●ハワイパシフィック大学（アメリカ合衆国ハワイ州）と一般協定を新規締結！！

ハワイパシフィック大学（以下、HPU）は、アメリカ合衆国ハワイ州ホノルル市にある、学生数約8,200人の私立大学です。アメリカ合衆国50州すべての地域出身の学生や世界100ヶ国からの留学生が学んでおり、多文化キャンパスを構成しています。経営学部、人文科学部、自然・コンピュータ科学部、看護健康学部の4学部を有し、文系・理系ともにバランスの良い学部展開がなされています。

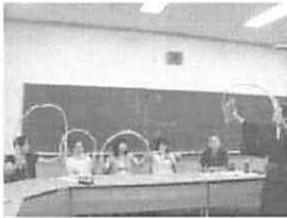
HPUとの協定交渉は、昨年10月にHPUからのコンタクトがあり開始されました。また、今年2月には、本学から現地の大学を訪問し、意見交換を行い、その後の交渉の結果、一般協定を締結することになりました。

HPUとは、今後も調整を継続し、学生交換協定締結に向けて交渉を行なっていく予定です。



## ●「京都高校生のつどい」に本学留学生が参加しました。

6/20（日）に大宮学舎を会場に実施された学外団体によるイベント「京都高校生のつどい～春季討論集会」に本学学生とハイスラー・レベッカさん（JAS 私費留学生／アメリカ出身）・馬 依婷さん（短期大学部／台湾出身）の2名の留学生



が参加しました。これは、実施団体からの「国際交流や留学などに関心を持っている高校生と留学生を交流させたい」との依頼に基づき、本学の留学生を派遣したものです。当日は、150人の高校生が参加し、高校生による強盗事件を扱った模擬裁判が行われ、異なる文化背景を持つ留学生の立場から発言を行ったり、午後からの分科会では、それぞれの国の文化紹介など、和やかな雰囲気の中でディスカッションが行われました。分科会では、地域の高校生による「南京玉すだれ」が披露され、留学生も楽しんで参加していました。



## ●「平和プログラム2010」～広島で平和について考える～

今年も例年通り公募で参加者を募り、多数の参加希望者の中から選ばれた9ヶ国・地域出身の19名の留学生と親和会からの旅費補助を受けた日本人学生3名が、7月2日（金）～4日（日）の2泊3日で「平和プログラム」（広島）に参加しました。

このプログラムは、「本学で学ぶ留学生を広島に招待し、平和について深く考え学んでほしい」という浄土真宗本願寺派安芸教区教務所（広島別院）のご厚意により、1994年から始まったもので、今年で16回目の参加となりました。原爆ドームや広島平和記念資料館の見学、広島別院の「平和を願う念仏者の集い」（平和を語る集い・全戦争死没者追悼法要）への参加、日本人家庭へのホームステイ等を通じて、国籍を越えて平和について考える貴重なプログラムとなりました。

これまではこのプログラムに参加した留学生は32ヶ国・地域出身245名に及びます。今回も参加者全員が広島で「平和の大切さ」「戦争の悲惨さ」について、身をもって感じ、再び戦争を繰り返すことのないよう、平和の実現に向けて心を新たに大変貴重な体験をしました。

### 【プログラム日程】

- \*Day1:7/2（金） 正午：広島到着→柳川駅→広島別院にて参拝→昼食→平和学習（平和公園・資料館などを見学）→歓迎懇親会→終了後、ホームステイ先（寺院・一般家庭）へ移動し、宿泊
- \*Day2:7/3（土） 各ホームステイ先から広島別院へ→「平和を語る集い」参加→昼食→「全戦争死没者追悼法要」に参加（法要にて献花）→各ホームステイ先にて宿泊
- \*Day3:7/4（日） 午前中～午後：各ホームステイ先の方々と行動→夕方：広島から京都へ帰郷。

写真左  
原爆ドームの前で記念撮影  
写真右  
全戦争死没者追悼法要



## ●2010 年度 9 月入学 留学生別科入試の応募者と結果について

出願者：11ヶ国・地域の48名、合格者：7ヶ国・地域の26名、入学手続き者：4ヶ国19名となりました。

	中国	台湾	香港	韓国	ベトナム	スリランカ	インド	カナダ	ペルー	ドイツ	ポーランド
出願者 48名	33	2	1	1	3	1	1	2	1	2	1
合格者 26名	19	2	0	0	1	1	1	0	0	1	1
手続き者 19名	16	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1

◎留学生別科とは・・・◎

1年間の日本語・日本文化学習のためのプログラムで、日本語関係科目および多岐にわたる日本事情関係科目の授業を行っています。学期ごとに日本語能力のレベルに合わせてクラス分けを行い、日本語の授業は、月曜日から金曜日の午前中および火曜日と金曜日の午後集中して授業を行っています。その他にも、日本の経営システムについて学んだり、京都に残る伝統文化や芸能などを学ぶ機会もあります。開講授業の詳細については、留学生別科紹介→<http://intl.ryukoku.ac.jp/dlp/program/index.html> をご覧ください。

## ●英語による合宿研修 BIE weekend を開催しました！



Cal Partner と会話をする学生

BIE Program に参加する学生を対象とした合宿研修 BIE Weekend を本学「セミナーハウスともいき」にて開催しました。

BIE Weekend は参加者メンバーの親交を深めることはもちろんですが、アメリカでの授業スタイル（プレゼンテーションやディスカッション）に慣れることを目的としています。

2日間合計6コマの授業以外にも Skype を通じて、パークレーで会う予定の Cal Partner Program (BIE 生が UC パークレーの学生とマッチングしてもらえるプログラム) の学生とコミュニケーションしたり、「International House ともいき」の留学生や短期受入中の UC Davis の学生を交えた Mixer Party を開催し、留学中に現地地で会う約束をしている学生もいました。

週末2日間の充実した内容に、疲れた様子も見せた彼らでしたが、同時に達成感を感じて、とても満足した表情を見せてくれました。



Mixer Party の様子

## ●ただいまニッポン！ Vol.2 ～カナダ・カルガリー大学～



カルガリー大学へ本学から初めて派遣した交換留学生、小山大祐さん（国際文化学部芸術メディアコース3回生）が5月に帰国しました!!小山くんが現地の様子をレポートしてもらいました：

“カルガリー大学は大変大きな規模の大学で研究分野も多方面にわたり、様々な学生が同じキャンパスで勉強しています。日本人学生とカルガリーの学生の大きな違いは「勉強に対する意欲」だと思います。ランチをしながら教科書を片手に勉強する学生や夜中の12時まで勉強する学生が多く、勉強に対する考えを改めさせられました。

また、議論好きな学生も多く、政治、国際関係、ビジネス、スポーツなど分野を問わず、それぞれの人達が自分の知識や研究分野を使って議論を展開しているのが日常で、キャンパスのカフェテリアはいつも騒がしかったです。私も気がつけば5、6時間話し込んでいたこともありました。



ホストファミリーの子どもたちと

カナダにはそれぞれ異なる文化背景を持った人々が共存しています。しかし、異なる文化背景を弱点にしてお互いを責め合うのではなく、それを自らの強みとして全面に押し出している気がしました。なので「カナダ人」というよりも「文化」を主張する、これがカナダの「モザイク」と呼



カルガリー大学の友人と

ばれる文化のアイデンティティーなのだと実感しました。

帰国した今、自分の研究テーマである「文化研究」について、この留学経験を生かしたいと考えています。日本に対して感じる「おかしいと思うところ」をテーマにするのか、それとも、なぜ否定的に「おかしい」と感じるかなどを研究するのも面白いと考えています。留学は語学のためにするものではない、語学以外の留学でしか得られないものを得るために留学するのだと実感できたことが大きな収穫だと思います。そして、この経験を生かしてカナダ・日本間の橋渡しも将来できれば良いと考えています。”

## ●2011（平成23）年度派遣交換留学予定学生（第1期）が決まりました！

本学は18ヶ国・地域の38大学と学生交換協定を締結しています。

以下のとおり、2011年度派遣交換留学予定学生（第1期）24名（1回生3名、2回生5名、3回生14名、4回生1名、5回生1名）が決定し、来年度出発の準備をしているところです。

2011年（平成23）年度 第1期派遣交換留学応募者一覧

国名	大学名		L	E	B	J	T	C	W	TM	M	総計
韓国 〈国別募集〉※	東亜大学（3名合格） 東国大学（3名合格）	第1次	1		1	2			4			8
		第2次	1			2			4			7
		合格	1			1			4			6
タイ 〈国別募集〉※	アソフ ヨソ大学（3名合格） チュロソソ大学（1名合格）	第1次	2	1					1			4
		第2次	2	1					1			4
		合格	2	1					1			4
イギリス	ウエストミンスター大学	第1次	3					1	2			6
		第2次	3						1			4
		合格	1									1
ドイツ	デュッセルドルフ・エッソ大学	第1次	3		1	2						6
		第2次	2		1							3
		合格	2		1							3
ウクライナ	キエフ大学	第1次										0
		第2次										0
		合格										0
ロシア	モスクワ大学 アソ アソカ学院	第1次	1									1
		第2次	1									1
		合格	1									1
オーストラリア	RMIT大学	第1次	3						1			4
		第2次	2						1			3
		合格	2						1			3
オーストラリア	マードック大学	第1次	4	2	1	1		1	3			12
		第2次	2	2	1	1		1	1			8
		合格	1	2	1				1			5
アメリカ	米国仏教大学院	第1次									1	1
		第2次									1	1
		合格									1	1
総計		第1次	17	3	3	5	0	2	11	0	1	42
		第2次	13	3	2	3	0	1	8	0	1	31
		合格	10	3	2	1	0	0	7	0	1	24

※国別募集とは…国別に面接を行い、成績の高い学生から順番に、学生の希望大学順位に基づき派遣大学を決定する。

※クワズール・ナタール大学（南アフリカ）は募集なし。

◎次号の国際センター通信は、2010年9月下旬発行予定です！お楽しみに！◎



## ●ハワイ大学（アメリカ合衆国）と学生交換協定を新規締結！！

ハワイ大学マノア校（University of Hawai'i at Manoa）は、アメリカ合衆国ハワイ州に本部を置く、10のキャンパスを持つハワイ大学システム（マノア校、ヒロ校、西オアフ校、コミュニティカレッジ）のなかで最も知名度の高い教育研究機関で、特に外国語教育研究（日本語を含む）、第二言語教育、植物バイオテクノロジー、海洋学、天文学などの分野では全米トップレベルに位置しています。



本学とハワイ大学マノア校とは、1979年に学生交換協定を締結しましたが、その



後、実質的な交流が長期に渡り途絶えていました。そういった中、2010年に入って本学関係者がハワイ大学マノア校を訪問したことを契機として、2010年の本学入学式にダーセンプロック副学長を招へい、また、5月にはヒンショー学長の訪問を受けました。更に、8月に学長を初めとした本学代表者団がハワイ大学を再訪問したことを契機に、両大学間の交流が急速に進展し、この度、新たに学生交換協定を締結することとなりました。

交換留学に関する詳細は、国際部・国際部ホームページにて、順次発表していきます。

### 【学生交換協定の主な受入条件】

所属	受入人数	授業料	寮	奨学金	受入開始（予定）
ハワイ大生	2名	免除	学生負担	なし	2011年9月
龍大生	2名※	免除	学生負担	なし	2011年9月

※2名を超える龍大生については、「ホアキハプログラム」（「ホアキハ」とは、ハワイ語で「特別な訪問者」を意味。州外在住者学費の15%の奨学金を受け、交換留学生と同じプログラムを履修することができる）を利用することができます。

### 【派遣留学のための語学要件】

TOEFL iBT68点もしくはPBT520点が必要です（TOEFL-ITPも可）

## ●交換留学生、留学生別科生 19ヶ国から37名が入学しました！！

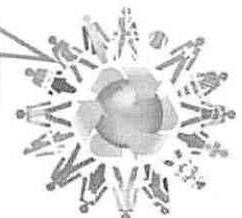
2010年9月入学の交換留学生49名、留学生別科生19名、合計68名が入学しました。今後、それぞれのプログラムに参加し、各自の専門分野や日本語・日本文化について学習を進めていくことになります。

国籍/地域	所属		
	交換生	別科生	総計
アメリカ	5		5
イギリス	3		3
ウクライナ	1		1
オーストラリア	1		1
カナダ	3		3
スウェーデン	1		1
スペイン	2		2
フィンランド	4		4
フランス	2		2
ポーランド	1	1	2
マレーシア	1		1
モルドバ	1		1
ロシア	1		1
韓国	4		4
台湾	2		2
中国	16	16	32
日本/アメリカ	1		1
ドイツ		1	1
スリランカ		1	1
総計	49	19	68

### 【交換留学生 受入学部別 内訳】

学部	集計
文学部	16
文学研究科	5
経済学部	3
経営学部	13
法学部	4
理工学部	1
国際文化学部	6
国際文化学研究科	1
総計	49

交換留学生の紹介は、次ページに掲載しています。どうぞご覧下さい◎



## ●短期受入プログラム “Buddhist Studies in Japan” 学生バディ活躍中！！

9月から12月まで、アメリカ・アンティオク大学 Antioch Education Abroad が主催する“Buddhist Studies in Japan”の参加学生13名が大宮学舎を中心として、仏教の歴史や文学を学んでいます。大宮学生の学生たちと留学生との国際交流を深めるため、学生バディ（留学生の交流パートナー）の募集を行い、18名の学生が学生バディとして活躍してくれています。

10/18（月）にはランチタイムマッチングを行い、グループに分かれた学生バディと留学生たちが、仏教、文化、日本についてなど、盛んに交流をしていました。

今回の学生バディ募集では、仏教を学びにきている留学生との交流を想定し、応募用紙には、“What are your views about Buddhism in Japan?”（日本の仏教についてどのように考えますか？）といった質問項目を設けました。応募した学生たちからは、仏教や日本文化に関する様々な意見が寄せられました。

日本の若者は、仏教に関心がないと言われているが、日本の文化や密着の中に仏教の思想が根付いていて気がつかないうちに仏教に触れているのでは？



お葬式やお盆など、日常生活で仏教に触れることは多いが、仏教について知識を蓄えているかと言われるとそうではない。

日本人が大切にしている「思いやり」の精神も、仏教の教義を受けていると思う。

最近では、仏教を学ぶためということだけでなく、精神的に寺院を訪れる若者も増えてきている。

仏教について学んでいる留学生との交流を通して、私も仏教について考えていきたい。

仏教と言っても、様々な宗派あり、しきたりがあるため面白い。

法具や経典などで、国宝や重要文化財に指定されているものも多い。日本美術を語る時にも仏教は大切。

## ●「日本・ベトナム学生交流会」(主催: 学生情報センター<NASIC> に参加しました！！)



9/27(水)にNASIC(学生情報センター)主催、文部科学省、外務省、在日ベトナム大使館後援の「日本・ベトナム学生交流会」が、京都センチュリーホテルで開催され、本学から落合センター長を含め国際部から3名、日本人学生8名が参加しました。

この交流は、10年ほど前から学生サポートセンターがベトナムの学生を招待し、日本の大学などに訪問し、日越の学生交流を深めることを目的としています。ちなみに、昨年は本学を訪問されました。約40名のベトナムからの学生が、色とりどりのアオザイの衣装に身を包み、歌などを披露し、ベトナム学生の温かさが伝わってくるパーティーでした。

## ●「留学生スポーツ大会」を行ないました！！

10/17（日）に、本学深草体育館で、「留学生スポーツ大会」を初めて開催しました。日頃大勢でスポーツをする機会の少ない留学生からの希望もあり、留学生寮が中心となって、スポーツ大会を企画しました。50名を超える留学生と日本人学生が集まり、4チームに分かれ、選手宣誓、ラジオ体操、借り物競争、二人三脚、リレー、大縄などなど、小学校の運動会さながらの種目に、留学生は見様見まねで挑戦し、途中からは点数を競い合い本気で頑張っていました。

寮の枠を超えた、留学生同士、日本人との交流が出来ました。



◎次号の国際センター通信は、2010年11月下旬発行予定です！お楽しみに！◎



# 国際センター通信

Vol. 15 (発行日 2010.12)

編集・隔月発行

龍谷大学国際センター

〒612-8577 京都市伏見区深草町本町 67

TEL:075-645-7898 FAX: 075-645-2020

<http://intl.ryukoku.ac.jp/>



## ●2010年9月入学交換留学生・留学生別科生ウェルカムパーティを行ないました！

2010年10月15日、この秋に新しく入学した交換留学生45名、留学生別科生19名、JAS(Japanese and Asian Studies)生4名の合計68名を対象としたウェルカムパーティを行いました。新入留学生、在学留学生、留学生寮チューター、留学サポーター(SABS)など合計100名以上が参加し、大盛況のパーティとなりました。ダンスサークル「輪舞曲(ロンド)」による迫力あるパフォーマンスでは、音楽

に合わせて留学生達も一緒に歌い踊り、会場全体がお祭りさながらの雰囲気になりました。続いて、袴に身を包んだ剣道部のみなさんが登場。凛とした演武に、留学生も皆魅了されている様子でした。そしてパーティも終盤、留学生寮チューターたちの女子高校生姿による「会いたかった」(AKB48)が披露されると、会場内は笑い歓声に包まれました。龍谷大学での楽しい留学生活のはじまりに、留学生も皆非常ににこやかな表情で見入っていました。とても和やかな雰囲気の中、留学生別科の田尻先生のご挨拶でパーティを終えました。今回は、企画から運営に至るまで、留学サポーター(SABS)の全面的な協力があり、学生間の国際交流は推進されました。



## ●日本文化に触れる～奈良フィールドトリップ、茶道体験を行ないました！

留学生別科・JCLP (Japanese Culture and Language Program) では、教室内の座学だけではなく、寺社仏閣を訪れ歴史を学んだり、実際に日本文化を体験することで、留学生に対して、豊かな学びの機会を提供しています。今秋は、「日本文化入門」および「日本語」の授業の一環として、「奈良フィールドトリップ」、「茶道体験」を実施しました！

### ～～【奈良フィールドトリップ】～～

10/26(火)、留学生別科生、受入交換留学生を含め、総勢105名で奈良にフィールドトリップへ行きました。春日大社、東大寺や奈良公園を訪問し、平城遷都1300年祭で賑わう古都奈良で日本文化について学びました。



### ～～【茶道体験】～～

11月13日(土)に、「日本文化入門」(文化体験)の一環としての「茶道体験」に、留学生別科生8名と交換留学生17名の合計25名が参加しました。例年は、紫光館の茶室にて行なっていますが、今年は、本学の茶室に入りきれないほどの受講生がいたため、茶道裏千家 松本宗栄先生(京都市上京区)の茶室にて授業が行なわれました。

伝統的な町家建築において、本格的な茶道体験ができ、留学生も大変緊張しながらも、京都の古い町家文化についても学ぶことができました。

写真は、松本先生とお弟子さんたち(書物姿)、その他が留学生別科生、交換留学生たちです。



## ●上海で開催された「日本：京都七大名校」に出展しました！

上海万博京都ウィーク実行委員会（京都市・京都府・京都商工会議所）主催による京都の大学を紹介する「日本：京都七大名校」がシェラトン虹橋ホテルで、10月16日～18日に開催され、本学から津守と黄が参加しました。（参加大学：龍谷大学、同志社大学、京都産業大学、立命館大学、京都精華大学、京都工芸繊維大学、京都大学）留学展では、大学紹介のプレゼンテーションおよび個別ブースでの説明会を行いました。ブースでは、4時間に渡って留学の相談が続き、約50名の訪問者が



ありました。訪問者からの主な質問は、本学の大学院や別科を中心に、どのような専門があるのか、奨学金、生活費、留学生寮など、幅広い内容でした。

また、この留学展参加に併せ、学生交換協定校である上海師範大学の王副学長（←写真左から2番目）、国際センター夏副センター長（←写真左から1番目）などとの交換プログラムに関する意見交換、また、上海師範大学で交換留学中の学生2名との面談を行いました。王副学長は、23年前に本学の別科と経済学部で1年間留学されたこともあり、今回の訪問に、龍大での留学生生活を懐かしく思い出している様子でした。



## ●南アフリカ共和国の学生交換協定校・一般協定候補校を訪問しました！

11月17日～25日、南アフリカ共和国の学生交換協定校であるクワズール・ナタール大学（以下、UKZN）、一般協定の締結候補校であるプレトリア大学およびウィッツウォーターズランド大学を落合センター長が訪問し、UKZN派遣中の本学学生との面談や今後の国際交流に関する意見交換などを行いました。

本学は、2007年にUKZNとの間で学生交換協定を締結して以来、同校に3名の学生を派遣してきましたが、UKZN側からの交換留学生を受入れた実績はまだありません。今回のUKZN訪問では、そうした両校の学生交換留学をめぐる「派遣と受入れのインバランス」を解消すべく、UKZNの国際交流担当者に対して、瀬田学舎にて英語で開講されているJAS（Japanese and Asian Studies）や寮費免除などの本学独自の留学生向けプログラムや優遇制度について詳細な説明を行いました（写真は、落合国際センター長とUKZNのTasmeeraさん）。

また、一般協定締結候補校であるプレトリア大学とウィッツウォーターズランド大学では、各大学の施設見学、将来的な研究協力に関する具体的な協議、日本の大学との学生交換プログラム運用状況に関するヒアリングなどを行いました。



## ●2011（平成23）年度4月入学交換留学生 受入手続き進行中！

来年度4月入学の交換留学生の受入について、10ヶ国・地域14大学30名の交換留学生が入学する予定となりました。現在、留学ビザ取得のための「在留資格認定証明書」の入国管理局への申請や入学オリエンテーションのスケジュール調整を行っています。

世界の学年暦の関係上、例年、4月入学生は9月入学生より少ないのが現状ですが、来年度4月入学生は30名とここ数年の受入実績よりも増加しています。（参考：06年度11名、07年度16名、08年度16名、09年度21名）今後も、多文化共生キャンパスに向けて交換留学生の受入を推進していきます！

## ●2011年度4月入学 留学生別科入試の応募者と結果について

出願者：8ヶ国・地域の60名、合格者：6ヶ国・地域の27名、入学手続き者：4ヶ国23名となりました。

	中国	台湾	香港	韓国	シンガポール	インドネシア	ロシア	ドイツ
出願者60名	46	6	1	2	1	2	1	1
合格者27名	17	6	0	0	1	1	1	1
手続き者23名	17	4	0	0	0	1	1	0

◎留学生別科とは・・・◎

1年間の日本語・日本文化学習のためのプログラムで、日本語関係科目および多岐にわたる日本事情関係科目の授業を行っています。学期ごとに日本語能力のレベルに合わせてクラス分けを行い、日本語の授業は、月曜日から金曜日の午前中および火曜日と金曜日の午後集中して授業を行っています。その他にも、日本の経営システムについて学んだり、京都に残る伝統文化や芸能などを学ぶ機会もあります。

●開講授業の詳細については、留学生別科紹介→<http://intl.ryukoku.ac.jp/dlp/program/index.html> をご覧ください。

## ●2011（平成23）年度派遣交換留学予定学生（第2期）が決定しました！

本学は18ヶ国・地域の39大学・学部と学生交換協定を締結しています。このたび、以下のとおり、2011年度派遣交換留学予定学生（第2期）25名が決定し、来年度出発の準備を始めています。

国名	大学名		L	E	B	J	T	C	W	TM	M	総計	
中国	復旦大学	第1次				1			2			3	
		第2次				1			1			2	
		合格				1						1	
	上海師範大学	第1次		1	1								2
		第2次		1	1								2
		合格		1	1								2
	中国人民大学	第1次	3	2						2			7
		第2次	2	2						2			6
		合格	1	1						1			3
	大連外国語大学	第1次		1			1			1			3
		第2次		1						1			2
		合格	1	1						1			3
同济大学	第1次								1			1	
	第2次								0			0	
	合格			1								1	
台湾	国立台湾師範大学 (第1次選者合格発表後、 第2次審査を辞退)	第1次							1			1	
		第2次										0	
	東海大学	第1次										0	
第2次												0	
アメリカ	カリフォルニア州立大学 ノースリッジ校	第1次		1					1			2	
		第2次							1			1	
		合格							1			1	
	南ミズーリ州立大学 (L1名：正規交換留学生、 残り6名は学費有料生)	第1次	5							2			7
		第2次	5							2			7
		合格	5							2			7
	東テネシー州立大学	第1次			1								1
第2次												0	
合格												0	
カリフォルニア大学 デービス校	第1次									1		1	
	第2次									1		1	
	合格									1		1	
カナダ	カルガリー大学	第1次	7		1			1	1			10	
		第2次	6		1			1				8	
		合格	3									3	
クワントレン ポリテクニク大学	第1次								4			4	
	第2次								2			2	
	合格								2			2	
総計	第1次	15	6	2	2	0	1	15	1	0	0	42	
	第2次	13	4	2	1	0	1	9	1	0	0	31	
	合格	10	4	1	1	0	0	8	1	0	0	25	

※国別募集とは…国別に面接を行い、成績の高い学生から順番に、学生の希望大学順位に基づき派遣大学を決定する方法です。今回は、中国の面接の結果、中国人民希望者3名を大連外国語大学（L・W各1名）、同济（E1名）へ、大連外国語大学希望者（1名）を東海大学（台湾）へ派遣することとなりました。

## ●外国人留学生のための就職ガイダンス&ジョブフェアが開催されました！

12月10日（金）京都市国際交流会館にて、京都市国際交流協会による「外国人留学生のための就職ガイダンス&ジョブフェア」が開催され、主に関西圏の大学に通う留学生が参加しました。就職ガイダンスでは、「日本での就職活動」、「企業が留学生に求めるスキルとは?」、「就職を希望する留学生へのアドバイス」など、盛りだくさんの就職情報が紹介され、日本での就職状況に熱心に聞き入っていました。また、ジョブフェアでは、オムロン、京セラ、パナソニックなど、世界で国際的な展開を行なっている有名企業が参加し、日本での留学中に得た異文化体験や語学能力などを活かした就職を希望している学生の姿が多数見られました。

京都市では、日本での就職を希望している皆さんのために多くのイベント、フェア、ワークショップなどを開催しています。日本企業への就職を目指す留学生は、次ページの「[KYOの海外人材活用推進事業](#)」にもぜひ登録して下さい。また、本学キャリア開発部でも、留学生向けの就職情報を提供しています。ぜひチェックして下さい!!

## ●日本企業への就職を目指す留学生の皆さんへ～「KYOの海外人材活用推進事業」

京都府内の大学等に在籍する留学生の皆様を対象に、「留学生就職支援・人材バンク登録事業」が、KYOの海外人材活用推進協議会（以後、協議会）によって実施されています。この事業は、人材バンクに登録（登録料無料）することにより、就職情報の提供や、就職相談、企業研修などが無料で受けられるものです。募集要項の詳細は、KYOの海外人材活用推進協議会のホームページ <http://www.kyojinzai.jp/index.html>にて確認して下さい。

### ●人材バンクへの登録対象者（以下①～③のすべての要件を満たす者）

- ①京都府内の大学、短大、大学院に在籍する外国人留学生で、在留資格「留学」を有する者。  
※瀬田学舎所属の学生も登録可。
- ②2011（平成23）年4月及び2012（平成24）年4月から日本で就業を目指し就職活動を行う者。  
※学部3,4年次、短大1,2年次、修士1,2年次、博士2,3年次  
※9月入学の場合、学部3年次、短大1年次、修士1年次、博士2年次の方は、2013（平成25）年4月からの就業となり、2011（平成23）年4月から登録対象
- ③日本企業への就職を希望する者。

◆募集期間 2010年7月16日（金）～2011年3月31日（木）

◆登録方法 上記、協議会のホームページから申請書をダウンロードし、協議会事務局までメール（[kokusai@pref.kyoto.lg.jp](mailto:kokusai@pref.kyoto.lg.jp)）にて送信して下さい。

この人材バンクに登録することで、以下のセミナーが無料で受けられます！！ぜひ登録して下さい。  
※セミナーの詳細はホームページにて確認して下さい。また、開催日時や場所、内容については、変更される場合があります。

日時/場所	セミナー内容
11/20（土） 10:00～12:00 キャンパスプラザ京都 （第1会議室）	◆就活セミナー②◆ ◇就活体験談発表②（業界、企業研究について） ・先輩留学生による業界、企業研究に関する体験談発表 ◇業界、企業研究の進め方 留学生をよく知るキャリアカウンセラーによる就活セミナー ・業界、企業研究の進め方 ・就職課や公的機関の活用方法 ・地元企業の研究方法 等
12/18（土） 10:00～17:00 キャンパスプラザ京都 （第3会議室）	◆就活セミナー③◆ ◇自己分析について 留学生をよく知るキャリアカウンセラーによる就活セミナー ・自己分析とは ・自己分析の進め方 ・ES、自己PRシートの書き方、書くときの留意点 等
1/29（土） 10:00～17:00 京都テルサ（研究室）	◆就活セミナー④◆ ◇面接対策①面接時の留意点 留学生をよく知るキャリアカウンセラーによる面接対策 ・面接で気をつけること、面接時の受け答え方 ・模擬面接（集団面接）
2/12（土） 10:00～17:00 場所未定	◆就活セミナー⑤◆ ◇面接対策②面接時の留意点 留学生をよく知るキャリアカウンセラーによる面接対策 ・個人面接で注意すること 他 ・模擬面接（役員面接）





# 国際センター通信

編集・隔月発行

龍谷大学国際センター

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67

TEL: 075-645-7898 FAX: 075-645-2020

http://intl.ryukoku.ac.jp/



Vol. 16 (発行日 2011.2)

## ●コメンスキー大学人文学部（スロバキア）と学生交換協定を新規締結！！



コメンスキー大学は、1919年に創立されたスロバキア・ブラチスラバにある、学生数約 30,000 人の国立大学であり、スロバキアで最も歴史が長い名門大学です。11 学部における学部教育の他、博士課程の大学院教育に力を注いでおり、北米およびヨーロッパを中心とする諸外国の大学との国際交流を活発に行っています。

今回、新たに学生交換協定を締結する「コメンスキー大学人文学部」では、言語、政治、歴史、教育、社会、ジャーナリズム、経営、文化人類学など 31 学科が設置されており、非常に幅広い教育が提供されています。コメンスキー大学は、スロバキアで初めて日本語コースを開設し、国内の日本語及び日本文化への関心を高めた大学で

もあり、非常に熱心に日本語教育が行われています。また、人文学部で開講されている Central European Studies の授業はすべて英語で開講されており、歴史、比較文学、言語学などの他の学科においても、英語で開講されている授業が多く、非英語文化圏のスロバキアにおいて、英語による学修が可能です。加えて、生活面では、西欧圏に比して、物価が安く、生活費などを抑えられるというメリットもあります。

交換留学に関する詳細は、国際部・国際部ホームページなどにて、順次提供していきます。



### 【学生交換協定の主な受入条件】

所属	受入人数	授業料	寮	奨学金	受入開始(予定)
コメンスキー大生	2名	免除	学生負担	なし	2011年9月
龍大生	2名	免除	学生負担	なし	2011年9月



◎写真左

コメンスキー大学  
本部棟外観

◎写真右

ブラチスラバの  
町並み

## ●カリフォルニア大学デービス校（アメリカ合衆国）との個別運用協定（学生交換協定）が延長されました！！

カリフォルニア大学デービス校（University of California, Davis. 以下、UC-D とする）とは、2004年に個別運用協定（学生交換協定）を締結しています。このプログラムでは、理工学部院研究生が派遣対象となっており、UC-D キャンパス内の図書館・研究室などの施設を利用しながら修士論文のための研究を進めたり、ホームステイをしながら英語の学習を行います。これまでに 11 名の院生を派遣してきました。このたび、現協定が 2011 年 4 月 2 日で満了を迎えるため、協定締結主体である理工学研究科と UC-D との交渉が完了し、本協定を更に 3 年間に延長することとなりました。



UC-D からは、毎年、6 月に短期受入プログラム（深草学舎）にて、25 名程度の留学生を受け入れしています。今年も 6/25（土）～7/24（日）までの間で受入を行う予定です。例年どおり、6 月上旬頃より、学生パティ（留学生との交流パートナー）の募集を行いますので、国際交流に興味のある学生は、ぜひ学生パティとして、積極的な国際交流を行ってほしいと思います。

今後も世界的に有名な UC-D と本学との研究・教育関係を深めていく予定です。

Ryukoku University International Center Newsletter

## ●クライストチャーチ・ポリテクニク工科大学（ニュージーランド）との国際交流一般協定が延長されました！

クライストチャーチ・ポリテクニク大学（以下、CPIT とする）は、1906年に設立された国立の教育機関です。クライストチャーチの中心部にメインキャンパスを持つほか、クライストチャーチにさらに2ヶ所とオークランドにもキャンパスを持っており、世界50ヶ国からの留学生を受け入れ、国際的な教育・研究が行われています。中でも、ホテルマネジメントやツーリズム、IT など、実社会で通用する実践重視の教育を行っています。本学とCPIT は



2006年6月に国際交流一般協定を締結していますが、このたび、2月末日で有効期限を迎えるにあたり、今後も国際交流を継続していくという目的のもと、国際交流一般協定を延長することとなりました。

本学からは、1990年より理工学部・社会学部・文学部生を対象とした「海外英語研修」（ニュージーランド）を実施しており、本学での事前授業の後、CPIT や同じくニュージーランドにあるリンカーン大学にて英語の授業とニュージーランドの文化・歴史などの諸事情を学ぶとともに、ホームステイ、週末ファームステイを通して異文化体験学習をするプログラムです。1990～2010年度までに参加した学生数は延べ434名、本学生に好評のプログラムとなっています。今後も大学間および学生間の交流を推進していきます。

## ●交換留学生・留学生別科生対象 フェアウェルパーティを実施しました！！

1月26日、この春に卒業する交換留学生、留学生別科生、JAS(Japanese and Asian Studies)生を対象としたFarewell Partyを開催し、帰国する留学生、在学留学生、留学生寮チューター、留学サポーター(SABS)など約70名が参加しました。パーティは田尻先生(経済学部)のご挨拶で幕を開け、続く魏巖さん(経済学部1回生)と王樂然さん(交換留学生)は、本学卒業生つしあやのさんの楽曲である龍谷大学応援ソングを日本語と中国語バージョンで軽やかに披露してくれました。続いて留学生寮チューターやSABSによる趣向を凝らした出し物が次々と披露されると、会場には笑いと歓声が飛び交い、留学生たちの楽しむ様子がうかがえました。会場には、龍大マスコットキャラクターのロンくんとロンちゃんも駆けつけてくれました。パーティ後半には鐘翠傑さん(留学生別科生)と鄭在成さん(交換留学生)による留学生生活を振り返ってのスピーチと、帰国留学生達の写真を集めたDVDの上映が行われました。ここでは楽しかった留学生活に思いを馳せ、目に涙を浮かべる学生の姿も多くみられました。落合国際センター長と北川先生(経営学部)による卒業生への激励のご挨拶で、大盛況のパーティは幕を閉じました。

国際センター・留学生別科教員一同、今後の帰国留学生の活躍を、心より応援しています。



## ●私費派遣留学生奨励奨学金 奨励奨学生が決まりました！

本学では従来から、「私費派遣留学生」に対し、留学中の本学授業料を免除(留学生在籍料のみ)にするなど、積極的に留学を支援してきましたが、2008年度以降に入学した学生で、私費派遣留学生として留学する学生を対象に、「私費派遣留学生奨励奨学金」制度をスタートしています。この奨学金は、奨学金申請書や面接の総合評価により選考し、優秀な学生に15万円を支給するものです。

このたび、2011(平成23)年度前期出発の私費派遣留学生奨励奨学生に24名(国際文化学部21名、社会学部1名、文学部1名、経済学部1名)の応募があり、13名(国際文化学部10名、社会学部1名、文学部1名、経済学部1名)の奨学生が決定されました。選ばれた学生たちが、この奨学金を十分に活用し、実りのある留学生活を送ってくれることを期待しています。各奨学生の渡航先は、カナダ4名、フランス・アメリカ各3名、イギリス・中国・オーストラリア各1名となっています。

奨学金の応募方法についての詳細は、「龍谷大学留学ガイド」(国際センターにて配付)や国際センターホームページ([http://intl.ryukoku.ac.jp/r\\_shih/s\\_fund.html](http://intl.ryukoku.ac.jp/r_shih/s_fund.html))をご覧ください。

## ●SABS (Study Abroad Supporter)、

### 龍大生の留学促進に向けて活躍中！

「語学力がないんだけど…」、「留学っていくら位必要？」etc 留学はしてみたいと思うけど、分からないことが多すぎてなかなかなかなか決断できない…。SABS (Study Abroad Supporter) はそんな疑問を解消して、留学を実現するお手伝いをする、留学経験者による学生スタッフです。メンバーは交換留学やBIE Programといった本学の留学プログラムや留学生寮・学生生活アドバイザー(寮チューター)を経験したことがある学生ばかりなので、経験に基づいたアドバイスを得ることができます。

主な活動としては International Lounge での留学相談コーナー開設、定期的に留学相談会等の各種イベントを開催していますので、ぜひ気軽に相談に来て下さい。



SABS メンバーたち。



留学相談会にて。経験を活かしたリアルな説明が好評です♪



留学を思い立ったら、まずは「留学ガイド」を熟読！

## ●日本企業への就職を目指す留学生の皆さんへ～“KYOの海外人材活用推進事業”

京都府内の大学等に在籍する留学生の皆様を対象に、「留学生就職支援・人材バンク登録事業」が、KYOの海外人材活用推進協議会(以後、協議会)によって実施されています。この事業は、人材バンクに登録(登録料無料)することにより、就職情報の提供や、就職相談、企業研修などが無料で受けられるものです。募集要項の詳細は、**KYOの海外人材活用推進協議会** <http://www.kyojinzai.jp/index.html>にて確認して下さい。龍谷大学からも多数の留学生が登録し、就活セミナーを受講しています！



### 【◎これまでこのようなセミナーが、無料で実施されました◎】

先輩留学生による業界・企業研究などに関する体験談発表、留学生の就職に詳しいキャリアカウンセラーによるセミナー、自己分析について、エントリーシート・自己PRの書き方、模擬面接・・・など。

### ●人材バンクへの登録対象者(以下①～③のすべての要件を満たす者)●

- ①京都府内の大学、短大、大学院に在籍する外国人留学生で、在留資格「留学」を有する者。  
※瀬田学舎所属の学生も登録可。
- ②2011年4月及び2012年4月から日本での就業を目指し就職活動を行う者。  
※学部3,4年次、短大1,2年次、修士1,2年次、博士2,3年次  
※9月入学の場合、学部3年次、短大1年次、修士1年次、博士2年次の方は、2013年4月からの就業となり、2011年4月から登録対象
- ③日本企業への就職を希望する者。

◆募集期間 **2011年3月31日(木)まで。**

◆登録方法 上記、協議会のホームページから申請書をダウンロードし、協議会事務局までメール([kokusai@pref.kyoto.lg.jp](mailto:kokusai@pref.kyoto.lg.jp))にて送信して下さい。

●「留学先から帰ってきました！！」～派遣留学生の帰国レポートから・・・

学生交換協定に基づき、派遣留学を行った学生たちには、帰国後 2 週間以内をめどに「帰国レポート」を提出してもらっています。派遣留学生たちの海外で得た経験、その経験を今後どのように活かしていきたいかなどをここで少し紹介します。留学を経験して、学生たちが大きく成長したことがよく分かって頂けると幸いです◎

●2010年2月～2011年1月 中国人民大学に留学 国際文化学部3回生 渡辺亜依さん●

本来の留学目標のメインは語学だけでしたが、様々な角度から中国が見たいと思い、北京以外のいろいろな地方へ行き、その土地を経験するという語学以外の新たな目標も設定しました。そのために長期休暇や土日を利用して、中国の様々な地方へ旅行をしに行きました。旅行は友人と一緒にの時や、一人だけの時があったのですが、やはり一人旅行はより自分を大きく成長させてくれたと思います。自分は今まで一度も一人旅行をしたことがなく、しかも中国で切符や宿の手配など全て自分一人で行なければならなかったため、不安は本当に大きかったです。しかし、一度成功すると中国人や、たまたま中国に遊びに来ていた韓国人と友人になったり、現地の人と仲良くなりご飯をご馳走になったこともありました。そういった経験の中で自然と語学力は磨かれ、その土地の人や文化に触れ、自分が従来持っていた中国のイメージと全くことなるものも自分の目で見、感じる事ができました。



このように予め留学の軸となる目標を設定しておくことで、新たに目標を付け加えることもでき、目標達成のためにどのように行動したらよいかもわかってきます。結果、私は HSK7 級という目標以上の成績を獲りました。留学から帰ったこれからも中国語の勉強を続けて、目標達成に向けて努力しようと思います。

●2010年2月～12月 マードック大学（オーストラリア）に留学 経営学部4回生 桑原 佐織さん●

この交換留学は私の人生のターニングポイントになったような気がします。留学前、留学後の自分を比べると、自分に自信が持てるようになった気がします。以前より世界が広がり、価値観や文化の多様性を知り、今まで以上に知りたいという気持ちが膨らみました。留学前には、英語の単語の勉強はもちろんのこと、コミュニケーションのとり方の基本を知っておく必要があると感じました。マードック大学は、オーストラリア国内でも有名な留学生の受入の多い大学です。留学生がいるのは当たり前、そして英語がネイティブ並みに話せる事も当たり前です。英語を上手に話す必要はないと思いますが、英語を話すことに慣れておく必要があったと思いました。



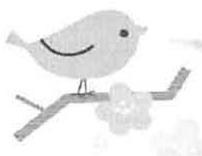
留学前・留学中に何より大切にしていたことは、「何をしに来たのか」ということです。どんなに迷ったり、悩んだりした時も、自分のオーストラリアでの目標が明確であったことで、前向きにできたと思います。人と比べるのではなく、自分の目標と向き合えたことが一番自分の成長につながったのではないかと感じました。マードックでの生活は楽しいことばかりではなかったけれど、世界中の友だちができて、世界が広がり、たくさん経験し、本当にかげがえのない1年となりました。今後はこの経験を活かし、日本だけでなく世界を舞台に活躍できる人になればいいなと思います。

●「2011-2012版 地球がキャンパスだ！龍谷大学留学ガイド」編集中！

いつでもどこでも龍谷大学の留学制度を知ってもらい、イメージできるよう毎年発行している「留学ガイド」(右写真は2010年度版)。毎年、サイズやデザイン等にもこだわり、「手軽に持ち歩ける」、「かわいい」と本学の学生からはもちろん他大学からも評判の一冊です。現在、来年度版の発行に向けて、最終編集作業を進めています。世界で活躍する本学 OB/OG の紹介、学生留学体験記、留学制度、学生交換協定校紹介、本学の国際交流に関するデータなど、留学を志す学生、日頃学生指導にあたられる教職員の方々にぜひ手に取って頂きたいと思います。



今号より、写真を増やしてよりビジュアル度 up！これまでよりも更に楽しく読んでもらえるよう、充実した内容となっています。国際部および各学部教務課窓口にて来月3月下旬頃発行です！どうぞお楽しみに♪



◎次号の国際センター通信は、  
2011年4月発行予定です！  
お楽しみに！◎

## 2010年度留学生別科体制

留学生別科長 落合 雄彦 (法学部教授) 国際センター長を兼ねる

留学生別科開講科目

科目区分	科目名(単位数)	開講	曜講	担当者	所属学部	備考
必修科目	日本語 A (12)	前期				
	日本語 B (12)	後期				
				別 表		
選 択 必 修 科 目	日本の宗教 A (2)	前期	月3	渡邊親文	文学部	非常勤
	日本の宗教 B (2)	後期	〃	〃	〃	〃
	日本の歴史・文学 A (2)	前期	月4	下間一頼	〃	〃
	日本の歴史・文学 B (2)	後期	〃	〃	〃	〃
	日本の歴史・文学 A (2)	前期	木3	笹尾佳代	〃	〃
	日本の歴史・文学 B (2)	後期	〃	〃	〃	〃
	日本の社会・文化 A (2)	前期	金4	河野秀寿命	法学部	非常勤
	日本の社会・文化 B (2)	後期	〃	〃	〃	〃
	日本の社会・文化 A (2)	前期	木4	小椋博	社会学部	
	日本の社会・文化 B (2)	後期	〃	田中明彦	〃	
	日本の社会・文化 A (2)	前期	月4	松居竜五	国際文化学部	
	日本の社会・文化 B (2)	後期	〃	〃	〃	
	日本の経済・経営 A (2)	前期	火4	大原盛樹	経済学部	
	日本の経済・経営 B (2)	後期	〃	島根良枝	〃	
	日本の経済・経営 A (2)	前期	月4	本田英夫	経営学部	
	日本の経済・経営 B (2)	後期	水3	〃	〃	
	日本の科学技術 A (2)	前期	集中	竺文彦	理工学部	
	日本の科学技術 B (2)	後期	隔週水3/4	情報メディア学科CL	〃	
	日本の武道・芸道 A (2)	前期	火4	川上孝也	別科	非常勤
	日本の武道・芸道 B (2)	後期	〃	〃	〃	〃
	特別講義 1 A Buddhism (2)	前期	木3	ジェフ・ショア	別科	〃
	特別講義 1 B Buddhism (2)	後期	水3	ジャフィー・ボール	法学部	
	特別講義 1 A 囲碁 (2)	前期	水3	今分喜行	別科	非常勤
	特別講義 1 B 囲碁 (2)	後期	〃	〃	〃	〃
	特別講義 1 A 日能試N1対応 (2)	前期	月3	小野寺節子	別科	〃
	特別講義 1 B 日能試N1対応 (2)	後期	〃	〃	〃	〃
	特別講義 1 A 日能試N2対応実戦 (2)	前期	月3	沼口恭慧	〃	〃
	特別講義 1 B 日能試N2対応実戦 (2)	後期	〃	〃	〃	〃
	特別講義 1 A 日能試N2対応基礎 (2)	前期	月3	稲垣宏明	法学部	
	特別講義 1 B 日能試N2対応基礎 (2)	後期	〃	〃	〃	
	特別講義 1 A 日本文化入門① (2)	前期	木3	後藤多恵	別科	非常勤
	特別講義 1 B 日本文化入門① (2)	後期	〃	〃	〃	〃
特別講義 1 A 日本文化入門② (2)	前期	〃	稲垣宏明	法学部		
特別講義 1 B 日本文化入門② (2)	後期	〃	〃	〃		

## 2010年度留学生別科体制

留学生別科長 落合 雄彦 (法学部教授) 国際センター長を兼ねる

留学生別科開講科目

科目区分	科目名(単位数)	開講	曜講	担当者	所属学部	備考
必修科目	日本語 A (12)	前期				
	日本語 B (12)	後期				
				別 表		
選 択 必 修 科 目	日本の宗教 A (2)	前期	月3	渡邊親文	文学部	非常勤
	日本の宗教 B (2)	後期	〃	〃	〃	〃
	日本の歴史・文学 A (2)	前期	月4	下間一頼	〃	〃
	日本の歴史・文学 B (2)	後期	〃	〃	〃	〃
	日本の歴史・文学 A (2)	前期	木3	笹尾佳代	〃	
	日本の歴史・文学 B (2)	後期	〃	〃	〃	
	日本の社会・文化 A (2)	前期	金4	河野秀壽命	法学部	非常勤
	日本の社会・文化 B (2)	後期	〃	〃	〃	〃
	日本の社会・文化 A (2)	前期	木4	小 椋 博	社会学部	
	日本の社会・文化 B (2)	後期	〃	田中明彦	〃	
	日本の社会・文化 A (2)	前期	月4	松居竜五	国際文化学部	
	日本の社会・文化 B (2)	後期	〃	〃	〃	
	日本の経済・経営 A (2)	前期	火4	大原盛樹	経済学部	
	日本の経済・経営 B (2)	後期	〃	島根良枝	〃	
	日本の経済・経営 A (2)	前期	月4	本田英夫	経営学部	
	日本の経済・経営 B (2)	後期	水3	〃	〃	
	日本の科学技術 A (2)	前期	集中	竺 文 彦	理工学部	
	日本の科学技術 B (2)	後期	隔週水3/4	情報メディア学科CL	〃	
	日本の武道・芸道 A (2)	前期	火4	川上孝也	別科	非常勤
	日本の武道・芸道 B (2)	後期	〃	〃	〃	〃
	特別講義 1 A Buddhism (2)	前期	木3	ジェフ・ショア	別科	〃
	特別講義 1 B Buddhism (2)	後期	水3	ジャフィー・ポール	法学部	
	特別講義 1 A 囲 碁 (2)	前期	水3	今分喜行	別科	非常勤
	特別講義 1 B 囲 碁 (2)	後期	〃	〃	〃	〃
	特別講義 1 A 日能試N1対応 (2)	前期	月3	小野寺節子	別科	〃
	特別講義 1 B 日能試N1対応 (2)	後期	〃	〃	〃	〃
	特別講義 1 A 日能試N2対応実戦 (2)	前期	月3	沼口恭慧	〃	〃
	特別講義 1 B 日能試N2対応実戦 (2)	後期	〃	〃	〃	〃
特別講義 1 A 日能試N2対応基礎 (2)	前期	月3	稲垣宏明	法学部		
特別講義 1 B 日能試N2対応基礎 (2)	後期	〃	〃	〃		
特別講義 1 A 日本文化入門① (2)	前期	木3	後藤多恵	別科	非常勤	
特別講義 1 B 日本文化入門① (2)	後期	〃	〃	〃	〃	
特別講義 1 A 日本文化入門② (2)	前期	〃	稲垣宏明	法学部		
特別講義 1 B 日本文化入門② (2)	後期	〃	〃	〃		

## 2010年度留学生別科体制（別表）

### 留学生別科開講科目（日本語関係科目）

科目区分	科目名(単位数)	開講	曜講(担当クラス)	担当者	所属学部	備考	
必修 科目	日本語 関係 科目	日本語 A (12)	前期	時間割表参照	田尻英三	経済学部	5・6コーディネーター
					稲垣宏明	法学部	
					北川逸子	経営学部	4Bコーディネーター
					朝倉淳子	非常勤講師	
					李宝瓊	〃	
					稲見由紀子	〃	3Aコーディネーター
					小野寺節子	〃	
					菓子田道子	〃	
					姜志鮮	〃	
					久富木幸子	〃	
					黒田志保	〃	
					後藤多恵	〃	2コーディネーター
					佐藤紀美子	〃	
					垣谷尚子	〃	
					篠原みゆき	〃	
					白石典子	〃	
					高岸雅子	〃	
					塚田智冬	〃	
					辻野里枝	〃	
					中井好男	〃	
					沼口恭慧	〃	
					坂東正子	〃	
					藤井みゆき	〃	
三登由利子	〃	4Aコーディネーター					
森田美恵子	〃	3Bコーディネーター					
吉田美美	〃						
必修 科目	日本語 関係 科目	日本語 B (12)	後期	時間割表参照	田尻英三	経済学部	5・6コーディネーター
					稲垣宏明	法学部	
					北川逸子	経営学部	4Bコーディネーター
					朝倉淳子	非常勤講師	
					李宝瓊	〃	
					稲見由紀子	〃	3Aコーディネーター
					小野寺節子	〃	
					菓子田道子	〃	
					姜志鮮	〃	
					久富木幸子	〃	
					黒田志保	〃	
					後藤多恵	〃	2コーディネーター
					佐藤紀美子	〃	
					垣谷尚子	〃	
					篠原みゆき	〃	
					白石典子	〃	
					高岸雅子	〃	
					辻野里枝	〃	
					富山佳子	〃	
					中井好男	〃	
					沼口恭慧	〃	
					坂東正子	〃	
					藤井みゆき	〃	
古田朋子	〃						
松尾憲暁	〃						
三登由利子	〃	4Aコーディネーター					
森田美恵子	〃	3Bコーディネーター					
吉田美美	〃						

## 2010年度留学生別科時間割表【前期】

	1			2			3			4		
	授業科目	担当者	教室	授業科目	担当者	教室	授業科目	担当者	教室	授業科目	担当者	教室
月	日本語A (2クラス)	後藤	4-312	日本語A (2クラス)	後藤	4-312	日本の宗教A	渡邊	4-507	日本の歴史・文学A	下間	4-509
	日本語A (3Aクラス)	吉田	4-507	日本語A (3Aクラス)	吉田	4-507	特別講義1A N1対応	小野寺	21-404	日本の経済・経営A	本田	4-301
	日本語A (3Bクラス)	中井	5-303	日本語A (3Bクラス)	中井	5-303	特別講義1A N2 実戦編	沼口	21-508	日本の社会・文化A	松居	4-302
	日本語A (4Bクラス)	北川	4-403	日本語A (4Bクラス)	北川	4-403	特別講義1A N2 基礎編	稲垣	2-205			
	日本語A (4Aクラス)	三登	5-504	日本語A (4Aクラス)	三登	5-504						
	日本語A (5クラス)	沼口	5-301	日本語A (5クラス)	沼口	5-301						
	日本語A (6クラス)	小野寺	5-402	日本語A (6クラス)	小野寺	5-402						
火	日本語A (2クラス)	後藤	4-312	日本語A (2クラス)	後藤	4-312	日本語A (聴解1)	黒田	2-105	日本の経済・経営A	大原	4-301
	日本語A (3Aクラス)	稲見	5-502	日本語A (3Aクラス)	稲見	5-502	日本語A (聴解2)	菓子田	2-505	日本の武道・芸道A	川上	21-405
	日本語A (3Bクラス)	森田	4-302	日本語A (3Bクラス)	森田	4-302	日本語A (聴解3)	中井	2-502			
	日本語A (4Bクラス)	中井	5-405	日本語A (4Bクラス)	中井	5-405	日本語A (聴解4)	塩谷	21-507			
	日本語A (4Aクラス)	三登	21-506	日本語A (4Aクラス)	三登	21-506	日本語A (聴解5)	三登	21-408			
	日本語A (5クラス)	田尻	21-505	日本語A (5クラス)	田尻	21-505	日本語A (5クラス)	久富木	2-503			
	日本語A (6クラス)	久富木	4-301	日本語A (6クラス)	久富木	4-301	日本語A (6クラス)	森田	2-205			
水	日本語A (2クラス)	姜	4-309	日本語A (2クラス)	姜	4-309	特別講義1A (囲碁)	今分	2-108			
	日本語A (3Aクラス)	吉田	5-301	日本語A (3Aクラス)	吉田	5-301						
	日本語A (3Bクラス)	白石	4-304	日本語A (3Bクラス)	白石	4-304						
	日本語A (4Bクラス)	北川	5-501	日本語A (4Bクラス)	北川	4-308						
	日本語A (4Aクラス)	黒田	4-302	日本語A (4Aクラス)	黒田	4-302						
	日本語A (5クラス)	藤井	2-205	日本語A (5クラス)	藤井	2-205						
	日本語A (6クラス)	田尻	21-408	日本語A (6クラス)	田尻	21-408						
木	日本語A (漢字1)	辻野	4-416	日本語A (話し方1)	辻野	4-416	特別講義1A (日本文化入門①)	後藤	2-508	日本の社会・文化A	小嶺	4-301
	日本語A (漢字2)	姜	4-415	日本語A (話し方2)	姜	4-415	特別講義1A (日本文化入門②)	稲垣	4-418			
	日本語A (漢字3)	李	4-417	日本語A (話し方3)	李	4-417	日本の歴史・文学A	笹尾	4-419			
	日本語A (漢字4)	久富木	2-303	日本語A (話し方4)	朝倉	2-312	特別講義1A (Buddhism)	Shore	2-406			
	日本語A (漢字5)	朝倉	2-404	日本語A (話し方5)	久富木	2-311						
	日本語A (5クラス)	菓子田	4-511	日本語A (5クラス)	菓子田	4-511						
	日本語A (6クラス)	佐藤	2-309	日本語A (6クラス)	佐藤	2-205						
金	日本語A (2クラス)	高岸	4-416	日本語A (2クラス)	高岸	4-416	日本語A (読解1)	稲垣	4-506	日本の社会・文化A	河野	4-511
	日本語A (3Aクラス)	稲見	4-312	日本語A (3Aクラス)	稲見	4-312	日本語A (読解2)	高岸	4-312			
	日本語A (3Bクラス)	森田	5-401	日本語A (3Bクラス)	森田	5-401	日本語A (読解3)	篠原	4-402			
	日本語A (4Bクラス)	塩谷	5-502	日本語A (4Bクラス)	塩谷	4-301	日本語A (読解4)	小野寺	4-302			
	日本語A (4Aクラス)	沼口	4-303	日本語A (4Aクラス)	沼口	4-303	日本語A (読解5)	北川	4-308			
	日本語A (5クラス)	篠原	5-403	日本語A (5クラス)	篠原	5-403	日本語A (5クラス)	坂東	4-511			
	日本語A (6クラス)	坂東	4-417	日本語A (6クラス)	坂東	4-417	日本語A (6クラス)	塚田	5-403			

■集中講義 日本の科学技術A 竺(じく) 7/29、7/30の2日間

## 2010年度留学生別科時間割表【後期】

	1			2			3			4		
	授業科目	担当者	教室	授業科目	担当者	教室	授業科目	担当者	教室	授業科目	担当者	教室
月	日本語B (2クラス)	後藤	4-312	日本語B (2クラス)	後藤	4-312	日本の宗教B	渡邊	4-507	日本の歴史・文学B	下間	4-509
	日本語B (3Aクラス)	中井	4-406	日本語B (3Aクラス)	中井	4-406	特別講義1B N1対応	小野寺	21-404	日本の社会・文化B	松居	2-306
	日本語B (3Bクラス)	吉田	4-507	日本語B (3Bクラス)	吉田	4-507	特別講義1B N2 実戦編	沼口	21-508			
	日本語B (4Bクラス)	北川	4-403	日本語B (4Bクラス)	北川	4-403	特別講義1B N2 基礎編	稲垣	2-205			
	日本語B (4Aクラス)	三登	5-504	日本語B (4Aクラス)	三登	5-504						
	日本語B (5クラス)	沼口	5-301	日本語B (5クラス)	沼口	5-301						
日本語B (6クラス)	小野寺	5-402	日本語B (6クラス)	小野寺	5-402							
火	日本語B (2クラス)	後藤	4-312	日本語B (2クラス)	後藤	4-312	日本語B (聴解1)	黒田	2-105	日本の経済・経営B	島根	4-301
	日本語B (3Aクラス)	稲見	4-405	日本語B (3Aクラス)	稲見	4-405	日本語B (聴解2)	菓子田	2-505	日本の武道・芸道B	川上	21-405
	日本語B (3Bクラス)	森田	4-302	日本語B (3Bクラス)	森田	4-302	日本語B (聴解3)	中井	5-504			
	日本語B (4Bクラス)	中井	5-405	日本語B (4Bクラス)	中井	5-405	日本語B (聴解4)	塩谷	21-408			
	日本語B (4Aクラス)	三登	21-506	日本語B (4Aクラス)	三登	21-506	日本語B (聴解5)	三登	21-503			
	日本語B (5クラス)	田尻	21-407	日本語B (5クラス)	田尻	21-407	日本語B (5クラス①②)	久富木/松尾	4-401/2-503			
日本語B (6クラス)	久富木	4-301	日本語B (6クラス)	久富木	4-301	日本語B (6クラス)	森田	2-205				
水	日本語B (2クラス)	姜	4-309	日本語B (2クラス)	姜	4-309	特別講義1B (閉巻)	今分	2-108			
	日本語B (3Aクラス)	吉田	4-301	日本語B (3Aクラス)	吉田	4-301	日本の経済・経営B	本田	4-301			
	日本語B (3Bクラス)	白石	4-304	日本語B (3Bクラス)	白石	4-304	日本の科学技術B (隔週)	情報メディア学科	21-507	日本の科学技術B (隔週)	情報メディア学科	21-507
	日本語B (4Bクラス)	北川	5-501	日本語B (4Bクラス)	北川	4-503	※開講日は下欄参照					
	日本語B (4Aクラス)	黒田	4-302	日本語B (4Aクラス)	黒田	4-302						
	日本語B (5クラス①②)	藤井/吉田	5-301/4-416	日本語B (5クラス①②)	藤井/吉田	2-205/2-407						
日本語B (6クラス)	田尻	21-508	日本語B (6クラス)	田尻	21-508							
木	日本語B (漢字1)	辻野	4-416	日本語B (話し方1)	辻野	4-416	特別講義1B (日本文化入門①)	後藤	2-508	日本の社会・文化B	田中	2-210
	日本語B (漢字2)	姜	4-504	日本語B (話し方2)	姜	4-504	特別講義1B (日本文化入門②)	稲垣	4-418		※担当者変更	
	日本語B (漢字3)	李	4-417	日本語B (話し方3)	李	4-417	日本の歴史・文学B	笹尾	4-419			
	日本語B (漢字4)	久富木	2-303	日本語B (話し方4)	朝倉	2-312						
	日本語B (漢字5)	朝倉	2-404	日本語B (話し方5)	久富木	2-311						
	日本語B (5クラス)	菓子田	4-420	日本語B (5クラス)	菓子田	4-420						
日本語B (6クラス)	佐藤	5-403	日本語B (6クラス)	佐藤	5-403							
金	日本語B (2クラス)	高岸	4-407	日本語B (2クラス)	高岸	4-407	日本語B (読解1)	稲垣	4-506	日本の社会・文化B	河野	4-510
	日本語B (3Aクラス)	稲見	4-312	日本語B (3Aクラス)	稲見	4-312	日本語B (読解2)	高岸	4-312	特別講義1B (Buddhism)	Jaffe	2-403
	日本語B (3Bクラス)	森田	5-401	日本語B (3Bクラス)	森田	5-401	日本語B (読解3)	篠原	4-402			
	日本語B (4Bクラス)	塩谷	5-504	日本語B (4Bクラス)	塩谷	4-301	日本語B (読解4)	小野寺	4-302			
	日本語B (4Aクラス)	沼口	4-303	日本語B (4Aクラス)	沼口	4-303	日本語B (読解5)	北川	4-308			
	日本語B (5クラス①②)	篠原/富山	5-502/5-402	日本語B (5クラス①②)	篠原/富山	5-502/5-504	日本語B (5クラス①②)	坂東/松尾	4-304/4-404			
日本語B (6クラス)	坂東	4-417	日本語B (6クラス)	坂東	4-417	日本語B (6クラス)	稲見	5-402				

※日本の科学技術Bの開講日：10/13、10/27、11/10、11/24、12/1、12/15、12/22、1/19 (予備日)

## 2010年度前期 留学生別科 授業・講義 開講状況

日本語関係科目 クラス編成

日本語A	コーディネーター	別科生	交換生	計
2クラス	後藤	1	6	7
3Aクラス	稲見	5	3	8
3Bクラス	森田	2	5	7
4Aクラス	三登	3	11	14
4Bクラス	北川	12	0	12
5クラス	田尻	14	12	26
6クラス	田尻	4	11	15
所属なし				0
JAS			4	4
		41	52	93

日本事情関係科目 履修登録状況

科目名	担当者	別科生	交換生	計
日本の宗教A	渡邊 (L)	3	7	10
日本の歴史・文学A	下間 (L)	1	5	6
日本の歴史・文学A	笹尾 (L)	2	10	12
日本の社会・文化A	河野 (J)	12	17	29
日本の社会・文化A	小椋 (C)	3	7	10
日本の社会・文化A	松居 (W)	1	10	11
日本の経済・経営A	大原 (E)	4	5	9
日本の経済・経営A	本田 (B)	3	7	10
日本の科学技術A	竺 (T)	11	22	33
日本の武道・芸道A	川上 (R)	0	13	13
特別講義1A (Buddhism)	ショア (R)	0	11	11
特別講義1A (囲碁)	今分 (R)	15	11	26
特別講義1A (日能試N1)	小野寺 (R)	10	9	19
特別講義1A (日能試N2実戦)	沼口 (R)	6	11	17
特別講義1A (日能試N2基礎)	稲垣 (J)	6	6	12
特別講義1A (日本文化入門①)	後藤 (R)	3	6	9
特別講義1A (日本文化入門②)	稲垣 (J)	0	3	3
		80	160	240

## 2010年度後期 留学生別科 授業・講義 開講状況

日本語関係科目 クラス編成

日本語B	コーディネーター	別科生	交換生	計
2クラス	後藤	1	6	7
3Aクラス	稲見	8	6	14
3Bクラス	森田	4	9	13
4Aクラス	三登	0	14	14
4Bクラス	北川	11	0	11
5クラス	田尻	15	15	30
6クラス	田尻	9	7	16
所属なし			4	4
JAS			5	5
	計	48	66	114

日本事情関係科目 履修登録状況

科目名	担当者	別科生	交換生	計
日本の宗教B	渡邊 (L)	2	2	4
日本の歴史・文学B	下間 (L)	4	7	11
日本の歴史・文学B	笹尾 (L)	3	10	13
日本の社会・文化B	河野 (J)	6	14	20
日本の社会・文化B	田中 (C)	2	6	8
日本の社会・文化B	松居 (W)	13	18	31
日本の経済・経営B	島根 (E)	1	6	7
日本の経済・経営B	本田 (B)	3	2	5
日本の科学技術B	情報メ (T)	0	3	3
日本の武道・芸道B	川上 (R)	4	8	12
特別講義1B (Buddhism)	ジャフィー (R)	0	4	4
特別講義1B (囲碁)	今分 (R)	13	28	41
特別講義1B (日能試1級)	小野寺 (R)	5	14	19
特別講義1B (日能試2級)	沼口 (R)	6	7	13
特別講義1B (日能試3級)	稲垣 (J)	10	13	23
特別講義1B (日本文化入門①)	後藤 (R)	9	17	26
特別講義1B (日本文化入門②)	稲垣 (J)	2	5	7
		83	164	247



## 留学生数推移（受入） 在籍区分別

単位（人）

	学部	大学院			短期 大学	留学生 別 科	特別留学生※						外国人特別生		特 別 専攻生	研 究 生	合 計
		M	D	LS			受入交換留学生			受入交換留学生以外			M	D			
							学部	M	D	学部	M	D					
1977	1	1					2										4
1978	1	1					1										3
1979	1	1					3										5
1980	1	2					3										6
1981		1	1														2
1982		1	1														2
1983																	-
1984	3	1	1														5
1985	7	3	2			11	3										26
1986	17	11	1			7	2										38
1987	19	18	2			24	1										64
1988	前期	27	17	4		38	13										99
	後期	27	17	4		43	23										114
1989	前期	37	17	5		49	16	1									125
	後期	40	17	5		46	21	1									130
1990	前期	48	15	8		39	23	2									135
	後期	57	14	8		42	23	2									146
1991	前期	77	28	7		1	35	17	2								167
	後期	83	27	7	1	47	24	2	1								192
1992	前期	98	27	8		1	39	13		1							187
	後期	108	26	8	1	44	25		1								213
1993	前期	116	24	15		2	39	28	1	2							227
	後期	122	23	15	2	45	31	1	2								241
1994	前期	128	24	16		1	40	26	5						1		241
	後期	132	24	18	1	51	26	5							1		258
1995	前期	129	30	20		1	45	22	2						2		251
	後期	122	31	20	1	45	21	3							2		245
1996	前期	131	37	17		33	14	7							6		245
	後期	139	39	17		42	15	7							7		266
1997	前期	145	35	19		1	45	17	6						4		272
	後期	150	38	18		49	24	7							4		290
1998	前期	170	31	16		32	20	3							6		278
	後期	174	30	17		45	21	3							6		296
1999	前期	176	38	22		49	18	3							4		310
	後期	175	36	22		61	25	5							4		328
2000	前期	170	41	20		46	28	5	2						3		315
	後期	171	40	19		59	30	6	2						3		330
2001	前期	235	42	18		55	23	4	2						4		383
	後期	231	43	19	2	59	22	4	2						4		386
2002	前期	266	41	18	2	45	17	3		6	1		1				400
	後期	274	40	18	2	53	15	4	1	6	2		1				416
2003	前期	317	39	18		1	48	20	3	3	2	3			3	4	461
	後期	324	36	19	1	41	23	5		4	2	3	1		2	4	465
2004	前期	356	42	23		2	34	18	7	3	2	1			2	3	493
	後期	352	41	21	2	41	25	11	2	1					2	3	501
2005	前期	352	43	21		3	29	32	12	5					1	4	502
	後期	354	45	20		3	35	26	12	7					4		506
2006	前期	354	40	19	1	4	33	33	6	7					6		503
	後期	349	46	19	1	4	36	38	6	10	1			2	7		519
2007	前期	337	42	15	1	2	24	46	8	8	3	2			10		498
	後期	332	46	14	1	2	33	45	6	4			1		3	10	497
2008	前期	324	46	16	1	1	32	53	5	7					3	6	494
	後期	313	51	18	1	1	44	49	5	6			2	2	3	6	501
2009	前期	309	71	17		3	28	53	6	6	1		1		10	6	511
	後期	307	73	19		3	52	55	4	7	1				9	6	536
2010	前期	308	85	19		2	41	49	4	11	2				11	3	535
	後期	288	90	21		2	48	58	5	10	1				5	3	531

※1977年度～2001年度までは、特別留学生、外国人特別生、特別専攻生も含んだ合計数です。

留学生数推移（受入） 所属別①

単位（人）

	1985	1986	1987	1988		1989		1990		1991		1992		1993	
				前期	後期										
正 文 学 部	1	3	4	3	2	3	3	3	3	3	3	10	10	14	13
M 文学研究科	3	8	11	8	8	8	8	7	7	15	15	12	12	9	8
D 文学研究科	1			1	1	2	2	6	6	4	4	6	6	11	11
特 文 学 部	3	2	1	2	3	1	1	4	4	7	6	3	3	6	7
特 文学研究科						1	1	2	2		1	1	1	1	1
D 研 究 生															
計	8	13	16	14	14	15	15	22	22	29	29	32	32	41	40
正 経 済 学 部 学 部		3	6	11	12	15	17	20	26	36	44	45	53	56	61
M 経済学研究科						1	1	2	2	6	5	8	7	5	5
D 経済学研究科	1	1	1	1	1									1	1
特 経 済 学 部 学 部				3	4	7	9	8	5	1	4	3	6	6	6
特 経済学研究科															
D 研 究 生															
計	1	4	7	15	17	23	27	30	33	43	53	56	66	68	73
正 経 営 学 部	6	10	8	10	10	16	16	19	19	25	22	26	25	20	18
M 経営学研究科		3	7	9	9	7	7	6	5	6	6	6	6	6	6
D 経営学研究科			1	2	2	3	3	2	2	3	3	2	2	3	3
特 経 営 学 部				7	14	7	10	8	9	6	10	3	8	6	7
特 経営学研究科										2	2			1	1
計	6	13	16	28	35	33	36	35	35	42	43	37	41	36	35
正 法 学 部		1	1	3	3	3	4	6	9	13	14	16	19	23	27
M 法学研究科						1	1							2	2
D 法学研究科															
特 法 学 部				1	2	1	1	3	5	2	3	3	7	9	10
特 法学研究科														1	1
計	0	1	1	4	5	5	6	9	14	15	17	19	26	35	40
M 理工学研究科															
D 理工学研究科															
特 理 工 学 部										1	1	1	1		
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0
正 社 会 学 部												1	1	3	3
M 社会学研究科										1	1	1	1	2	2
特 社 会 学 部														1	1
特 社会学研究科															
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	6	6
正 国 際 文 化 学 部															
M 国際文化学研究科															
特 国 際 文 化 学 部															
特 国際文化学研究科															
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
正 短 期 大 学										1	1	1	1	2	2
留学生別科	11	7	24	38	43	49	46	39	42	35	47	39	44	39	45
合 計	26	38	64	99	114	125	130	135	146	167	192	187	213	227	241

凡例：D：博士課程 正：正規留学生  
M：修士課程 特：特別留学生

## 留学生数推移 (受入) 所属別②

単位 (人)

		1994		1995		1996		1997		1998		1999		2000		2001	
		前期	後期														
正	文 学 部	13	13	18	16	11	11	12	12	13	13	7	7	6	6	8	8
M	文学研究科	9	9	10	10	12	12	11	11	8	8	10	10	10	9	6	6
D	文学研究科	12	12	14	14	8	8	7	6	3	3	6	6	6	6	8	8
特	文 学 部	8	7	5	7	8	7	9	9	7	7	7	9	12	10	6	6
特	文学研究科	1	1	2	2	5	5	4	4	3	3	3	3	5	5	5	5
D	研 究 生	1	1	2	2	5	6	4	4	6	6	4	4	3	3	3	3
計		44	43	51	51	49	49	47	46	40	40	37	39	42	39	36	36
正	経済学部学部	62	68	62	58	60	56	61	56	57	48	45	36	32	34	38	46
M	経済学研究科	4	4	6	7	8	10	7	10	10	10	15	14	14	14	16	18
D	経済学研究科	1	2	3	3	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	4	5
特	経済学部学部	3	5	5	3			2	4		2	5	5	2	5	2	4
特	経済学研究科					3	3	1	1					2	2		
D	研 究 生															1	1
計		70	79	76	71	75	73	75	75	71	65	70	60	55	60	61	74
正	経営学部	21	21	20	19	14	12	9	9	8	8	6	6	6	5	14	13
M	経営学研究科	6	6	6	6	6	6	4	4	3	3	5	5	7	7	5	5
D	経営学研究科	3	3	3	3	4	4	5	5	4	4	3	3	1	1	1	1
特	経営学部	1	3	6	6	2	4	3	5	5	8	4	5	4	2	3	3
特	経営学研究科					1	1										
計		31	33	35	34	27	27	21	23	20	23	18	19	18	15	23	22
正	法 学 部	28	26	25	25	26	25	15	13	13	10	7	4	6	6	12	13
M	法学研究科	4	4	6	6	9	9	11	11	8	7	5	5	7	7	5	5
D	法学研究科					1	1	3	3	4	4	7	7	7	6	5	5
特	法 学 部	12	10	5	4				1	2	2	1	2	3	3	1	
特	法学研究科	3	3		1	1	1	1	1				2				
計		47	43	36	36	37	36	30	29	27	23	20	20	23	22	23	23
M	理工学研究科			1	1	1	1					1	1	1	1		
D	理工学研究科									1	1	1	1	1	1		
特	理工学部	1	1	1	1			1	1	2	2	1	1				
計		1	1	2	2	1	1	1	1	3	3	3	3	2	2	0	0
正	社会学部	4	4	4	4	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
M	社会学研究科	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	1			2	1
特	社会学部	1	1			1	1			1							
特	社会学研究科	1	1			1	1										
計		7	7	5	5	6	6	3	3	4	3	3	2	1	1	3	2
正	国際文化学部					17	31	47	59	78	94	110	121	119	119	160	150
M	国際文化学研究科													2	2	8	8
特	国際文化学部							2	5	3			3	7	10	11	9
特	国際文化学研究科														1	1	1
計		0	0	0	0	17	31	49	64	81	94	110	124	128	132	180	168
正	短期大学	1	1	1	1		1	1								2	2
留学生別科		40	51	45	45	33	42	45	49	32	45	49	61	46	59	55	59
合 計		241	258	251	245	245	266	272	290	278	296	310	328	315	330	383	386

凡例：D：博士課程      正：正規留学生  
M：修士課程      特：特別留学生

# 留学生数推移 (受入) 所属別③

単位 (人)

	2002		2003		2004		2005		2006		2007		2008		2009		2010	
	前期	後期																
学 文 学 部	12	12	13	13	16	15	18	18	18	17	18	19	18	18	15	15	22	20
M 文学研究科	6	6	8	8	8	8	8	8	4	4	3	3	2	2	5	5	9	9
D 文学研究科	8	8	5	6	7	7	7	7	9	9	6	6	6	6	3	3	2	2
外 文学研究科(D)			1															
特 文 学 部	4	4	1	1							1	1			1	1	2	2
特 文学研究科(M)			2	2	1						4				1	1	2	1
特 文学研究科(D)																		
交 文 学 部	4	3	3	3	2	9	8	7	8	10	11	9	18	19	17	19	23	24
交 文学研究科(M)	3	3	2	2	5	8	7	7	3	3		4	4	3	4	3	2	4
交 文学研究科(D)			2	2	2	2												
研 文学研究科			3	3	2	2	3	3	4	4	8	8	5	5	6	6	3	3
計	37	36	40	40	43	51	51	50	46	47	51	50	53	53	52	53	65	65
学 経 済 学 部	54	61	66	72	74	72	69	73	72	69	74	72	75	74	78	80	81	81
M 経済学研究科	17	16	13	10	12	11	14	17	13	16	11	11	17	21	23	26	21	21
D 経済学研究科	6	6	5	8	8	7	8	8	6	6	7	6	5	6	6	8	5	7
外 経済学研究科(M)										1		1		2				
外 経済学研究科(D)			3	1														
特 経 済 学 部			1	1			2	2	1	3	2		2	3	3	2	1	3
特 経済学研究科(M)		1						4	7	4	6	10	6	1	2	5	2	3
交 経 済 学 部	4	3	3				2	3	1	1	1					1	1	
交 経済学研究科(M)				2	2		2	3	1	1								
専 経済学研究科			2	1	1	1	1	1	1	2					3	4	8	4
研 経済学研究科										2								
計	81	87	92	95	98	91	97	108	101	104	101	100	106	108	115	126	119	119
学 経 営 学 部	17	17	20	19	29	29	30	30	29	29	32	32	35	34	42	42	44	42
M 経営学研究科	3	3	1	1	2	2	1	1	6	6	7	7	5	5	13	13	21	21
D 経営学研究科	1	1	1	1	1													
外 経 営 学 部			1	1														
特 経 営 学 部			2	2			1	1							2	2	1	1
特 経営学研究科(M)																		
交 経 営 学 部	1	1	3	4	2	4	7	5	8	8	9	11	10	9	12	18	16	18
交 経営学研究科(M)						1	1								2	2		
計	22	22	28	28	34	36	40	37	43	43	48	50	50	50	71	75	82	82
学 法 学 部	14	15	21	23	29	29	30	29	29	29	29	24	20	16	12	12	14	10
M 法学研究科	3	3	5	5	6	6	5	4	3	5	5	7	5	4	7	7	5	5
D 法学研究科	3	3	1	2	3	3	1	1	1	1	1	1	2	3	4	4	4	4
外 法 学 部			1	1														
特 法 学 部	1	1			1	1												
特 法学研究科(D)																		
交 法 学 部		2	2	4	4	3	4	5	5	5	5	6	8	11	8	3		4
交 法学研究科(M)																		
交 法学研究科(D)		1	1	1	1													
専 法 学 部			1	1	1	1												
研 法学研究科			1	1	1	1			1	1	2	2						
計	21	25	33	38	46	44	40	39	39	41	41	39	34	33	30	27	24	23
学 理 工 学 部	2	2	4	3	7	6	7	7	7	7	7	7	9	8	6	5	7	7
M 理工学研究科(M)			1	1	1	1						1	1	1	2	2	2	2
外 理 工 学 部	1	1														1		
特 理 工 学 部																		
交 理 工 学 部	1								1	1								1
計	4	3	5	4	8	7	7	7	8	8	8	8	10	11	10	9	9	10
学 社 会 学 部	2	2	2	2	4	4	5	5	4	4	4	4	5	5	6	5	6	6
M 社会学研究科	2	2	1	1			1	1	2	2	1	1	3	3	7	7	11	11
D 社会学研究科												1	1	3	3	3	6	6
特 社 会 学 部	1	1					1	1										
交 社 会 学 部 (M)				1	2	1	1				2					2	2	
専 社会学研究科																		1
計	5	5	3	4	6	5	8	7	6	8	8	6	11	11	16	17	26	24
学 国 際 文 化 学 部	165	165	189	189	197	197	193	192	195	194	173	169	162	158	150	148	134	122
M 国際文化研究科	9	9	10	10	13	13	14	14	12	13	14	16	13	14	14	13	16	21
D 国際文化研究科	1	1	0	0	4	4	5	4	3	3	1	1	1	1	2	2	2	2
外 国 際 文 化 学 部			2	2										2				
特 国 際 文 化 学 部							1	3	6	7	5	3	5	3	1	2	7	4
特 国際文化研究科(M)	1	1									3							
特 国際文化研究科(D)											2							
交 国 際 文 化 学 部	7	6	9	12	8	8	12	5	4	10	15	14	11	8	12	8	6	8
交 国際文化研究科(M)		1	1	1		2	2	2	2		1	2	1					1
専 国際文化研究科												3	3	3	7	5	2	
計	183	183	211	214	222	224	227	220	222	227	214	208	196	189	186	178	167	158
法 務 研 究 科									1	1	1	1	1	1	1			
短 期 大 学 部	2	2	1	1	2	2	3	3	4	4	2	2	1	1	3	3	2	2
留 学 生 別 科	45	53	48	41	34	41	29	35	33	36	24	33	32	44	28	52	41	48
合 計	400	416	461	465	493	501	502	506	503	519	498	497	494	501	511	540	535	531

凡例 学：学部生 M：修士課程生 D：博士後期生 外：外国人特別生 特：特別留学生 交：交換留学生 研：研究生 専：特別専攻生

# 留学生数推移（受入） 国別①

単位（人）

	1985	1986	1987	1988		1989		1990		1991		1992		1993	
				前期	後期										
アイルランド															
アフガニスタン															
アメリカ	7	5	7	5	5	3	3	4	6	3	9	6	6	7	4
イギリス		1	1	1	1	1	1	1	2	2	1				
イスラエル															
イタリア				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
イラン											1	1	1	1	1
インド	1	1	2	1	1	1	1	1		1	1	1	1		
インドネシア		1	1												1
ウクライナ											2	2	3	2	2
ウルグアイ															
エチオピア															
オーストラリア									2	2	1	1	2	6	6
オーストラリア															
オランダ	1														
ガナ															
カザフスタン															
カナダ				2	1			1	1	1	2	1	2	1	1
カメルーン															
韓国	8	12	12	20	30	21	23	28	30	33	34	35	34	39	41
カンボジア															
ギニア															
クウェート															
ザンビア															
ジャマイカ															
シンガポール									1	1				1	1
スウェーデン													1	1	
スベイン															
スリランカ	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	2	1	2	2	2
タイ	1	3	4	4	4	3	3					1	2	1	1
台湾	3	6	21	29	30	19	19	17	18	21	20	19	22	17	16
タンザニア															
中国	4	7	15	33	48	71	73	77	79	95	108	109	127	141	152
チエリ															1
デンマーク											1	1			
ドイツ						1	1				1	1	2	2	3
トルコ									1						
ニューゼaland				1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	1	1
ネパール															
ノルウェー															
ハンガリー															
パングラダシュ															
東ティモール															
フィジー															
フィリピン				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3
フィンランド															
ブラジル															
フランス															
ブルガリア															
ベトナム															
ベラルーシ															
ベリーズ															
ベルギー															
ポーランド															
香港				1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1
マレーシア											1				
マレーシア										2	2	2	2	2	2
ミャンマー											1	1	1	1	2
メキシコ		1													
モロッコ															
モンゴル															
ユーゴスラビア															
ラオス															
ルーマニア															
ロシア													1		
合計	26	38	64	100	126	125	129	135	146	167	192	187	213	227	241

## 留学生数推移 (受入) 国別②

単位 (人)

	1994		1995		1996		1997		1998		1999		2000		2001	
	前期	後期														
アイスランド																1
アフガニスタン																
アメリカ	2	3	1	1		5	5	6	1	3	1	2	4	5	4	5
イギリス					1	2	3	2	2	2	1	2	2	1		
イスラエル									1	2	2					
イタリア																
インドネシア	1	1	1	1	1	1	1	2	1					1	1	
インドネシア					2	2	1	1	1	1	1	1				
インドネシア	1	1	1	1			2	2	1	1	2	2	2	2	1	1
ウクライナ	2	2				2	3	3	1		2	2	1	1		2
ウルグアイ									1	1						
エチオピア																
オーストラリア	4	4	6	6	4	4	1	2	7	7	5	6	4	5	4	5
オーストラリア												1	1	2		
オランダ													2			1
オランダ															1	1
カザフスタン																
カナダ	1	1	2	2	2	1							1	1		
カメルーン										1	1	1				
韓国	47	50	50	48	39	41	37	35	34	31	31	30	27	23	21	20
カンボジア																
ギニア									1	1	1	1				
クウェート																
ザンビア																
ジャマイカ																
シンガポール	1	1	1	1										1		
スイス														1	1	1
スウェーデン																1
スペイン													1			
スリランカ	2	1	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	2
タイ	2	4	2	3	3	2	4	4	3	4	3	4	7	8	11	8
台湾	18	17	16	14	21	22	24	24	24	25	26	27	20	21	20	19
タンザニア							1	1								
中国	148	162	157	154	165	177	178	198	194	206	223	231	226	241	300	306
チエコ																
チリ	1	1	1	1	1	1	1									
デンマーク																
ドイツ	2	2	4	4	2	3	1	1	2	1		2	2	2	4	3
トルコ																
ニュージーランド	1	1	1													
ネパール																
ノルウェー										1	1	1				
ハンガリー																
パングラデシュ										1	2	2	1	1		
東ティモール																
フィジー																
フィリピン	2															
フィンランド										1	1	1	1	2	2	
ブラジル					1	1	1	1	1	1						
フランス				1	1	2	1	1	1	2	3	6	6	6	5	3
ブルガリア																
ベトナム															1	1
ベラルーシ																
ベリーズ																
ベルギー												1	1	1		
ポーランド					1	1	1	1				1	1	1		
香港	1	1	1	2	3	2	1									
マレーシア	3	5	4	3	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
ミャンマー	2	1	1	1									1	1	1	1
メキシコ																
モロッコ																
モンゴル																1
ユーゴスラビア					1	1	2	2								
ラオス																
ルーマニア																
ロシア										2	2	2	2	2	3	3
合計	241	258	251	245	253	274	272	290	278	296	310	328	315	331	383	386

# 留学生数推移（受入） 国別③

単位（人）

	2002		2003		2004		2005		2006		2007		2008		2009		2010		
	前期	後期																	
アイルランド	1																1	1	2
アフガニスタン																			
アメリカ	2	1	4	6	3	3	4	3	5	10	10	12	10	11	13	9	6	10	
イギリス	1		1	3	2	6	6	1	1	2	2	1			1	4	4	4	
イスラエル																			
イタリア										2	2							1	
イラン								1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	
インドネシア	2	3	3	2	2	2	1	1											
インドネシア	2	1	1	1		1	2	3	2	1	1	1	1	2	3	3	4	3	5
ウクライナ																			
ウズベキスタン																			
エチオピア															1	1	1	1	1
オーストラリア	4	5	5	6	3	3	4	4	2	3	6	5	6	6	6	4	1	1	
オーストラリア																			
オランダ	1	1	1	1	1	2								1	1				
オランダ	1	1																	
カザフスタン										1									
カナダ	1	1	2	1	1	1	1	1	1			1	3	2	1	3	4	5	
カメルーン																			
韓国	21	18	16	17	19	20	27	25	25	24	24	25	30	27	34	35	32	33	
カンボジア				3	3	3	2	2	2	2	2	3	3	4	3	3	2	2	
ギニア	1	1	1	1	1	1													
クウェート					1	1	1	1											
ザンビア																	1	1	1
ジャマイカ						1	1	1											
シンガポール	1	1							3	4	3	3	3	3	2	2	4	4	
スイス	1	1	1	1	1														
スウェーデン	1		1	1	1	4	4	3	3	1	2	2	2			2	1	2	
スペイン						1	1	2	1	2	2	6	6	3	3	2	2	2	
スリランカ	1	1	1	1	1										3	2	4	4	4
台湾	10	10	6	5	6	7	7	7	7	7	7	7	8	6	5	10	10	6	
タイ	12	14	11	12	14	13	14	14	14	16	16	16	14	15	14	18	16	14	
タンザニア																			
中東	327	344	391	388	414	411	399	408	398	406	380	375	368	378	383	391	401	401	
チベット																1	1	1	
チベット																			
デンマーク							1	1	2		3		3		3	1	4	2	
ドイツ	1	3	5	2	3	3	3	3	8	8	9	9	6	2	1	5	2	3	
トルコ							1	1		1	1								
ニュージーランド																			
ネパール				1	2	2	3	3	3	3	3	3	4	5	2	2	1		
ノルウェー																1	1		
ハンガリー														1	1				
バンラダシユ						1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
東ティモール																1	1	1	
フィジー																		1	
フィリピン																			
フィンランド				1	1	1	4	5	3	2	2	3	2	4	3	3	4	4	
ブラジル									1				1	1	1	1	1	1	
フランス	3	3	3	4	4	4	4	3	4	4	3	3	3	3	3	4	3	2	
ブルガリア							1	1											
ベトナム	1	3	2	2	2	2	2	2	3	3	3	4	4	3	3	3	2	2	
ベラルーシ										1	1	1	1						
ベリーズ															1	1	1	1	
ベルギー										1									
ポーランド																	1	1	2
香港									2	1	1				1	2	1		
マレーシア			2	2	3	3	3	4	5	5	2	3	3	3	3	3	4	4	
ミャンマー	1	1	1	1	2	2	2	3	3	3	5	5	5	5	7	7	6	4	
メキシコ																			
モロッコ															1	1	1		
モンゴル	1									1	1	2	3	3	3	3	3	3	
ユーゴスラビア																			
ラオス															1	1	1	1	
ルーマニア																			
ロシア	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	
合計	400	416	461	465	493	501	502	506	503	519	498	497	494	501	511	540	535	531	

# 短期受入プログラム参加人数

単位(人)

	UC-Ryukokuプログラム (アメリカ)	ジョージア大学 (アメリカ)	アンティオクカレッジ (アメリカ)	南ミズーリ州立大学 (アメリカ)	サンノゼ州立大学 (アメリカ)	クワンテンポリテクニク大学 (カナダ)	ランガラカレッジ (カナダ)	マウントワッドコミュニティカレッジ (アメリカ)	アサンブション大学 (タイ)	ルンド大学 (スウェーデン)	西江大 (韓国)	韓国教員大学第2大学 (韓国)	慶熙大学校外言語大学 (韓国)	公州大学校社会福祉学科 (韓国)	江原大学校社会福祉学科 (韓国)	韓瑞大学校老人福祉学科 (韓国)	聖潔大学校社会福祉学部 (韓国)	平澤大学校社会福祉学科 (韓国)	ソウルサイバー大学 (韓国)	南ソウル大学 (韓国)	計	
受入学部	大学	大学	大学	大学	大学	大学	大学	国際文化学部	国際文化学部	国際文化学部	国際文化学部	国際文化学部	国際文化学部	社会学部・社会学研究科	社会学部・社会学研究科	社会学部・社会学研究科	社会学部・社会学研究科	社会学部・社会学研究科	社会学部・社会学研究科	社会学部・社会学研究科	社会学部・社会学研究科	
2001	20																					20
2002	23	6																				29
2003	19	9						9														37
2004	22							17	31													70
2005	22	7	14					15	7													65
2006	20	12	24	7	12		20	12	9													116
2007	20	8	20					11	15													74
2008	26		17	6				15	6		9											79
2009	20	12	9					7				32		4	6	4						94
2010	26		13	7		14			10	6					3	3				3	4	89

(注) ジョージア大学(アメリカ)は、2008年まで国際文化学部が受入を行った。

留学生別科志願者・合格者・手続者・入学者数推移 国別①

単位(人)

西 暦	1985		1986		1987		1988		1989		1990		1991		1992		1993	
	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10
入 学 者 数	11	7	8	15	12	14	34	16	38	9	110	42	46	45	21	34	46	34
志 願 者 数	11	5	7	13	12	14	30	16	38	9	20	24	24	30	21	21	23	22
合 格 者 数																		
手 続 者 数																		
入 学 者 数	11	5	7	13	12	14	30	16	34	8	17	22	20	26	18	20	21	19
男	8	3	3	7	7	7	13	9	27	2	10	11	10	14	12	11	9	7
女	3	2	4	6	5	7	17	7	7	6	7	11	10	13	6	9	12	12

入学者国別内訳

ア イ ル ラ ン ド																			
ア メ リ カ	2		1			2	1	1	1			1	2		7		2		
イ ギ リ ス		1										1	1						
イ ス ラ エ ル																			
イ ラ ン														1					
イ ン ド	1			1										1					
イ ン ド ネ シ ア																			1
オ ー ス ト ラ リ ア												2	1				1		
オ ー ス ト リ ア																			
オ ラ ン ダ	1																		
カ ナ ダ							2										1		
カ メ ル ー ン																			
韓 国	5	1	2			2	2	6		3	2	5	5	4	2	2	3	4	3
カ ン ボ ジ ア																			
ジ ャ マ イ カ																			
シ ン ガ ポ ー ル												1							1
ス イ ス																	1		
ス ペ イ ン																			
ス リ ラ ン カ									1								1		
タ イ								1								1			1
台 湾			2	5	5	4	11	5		2	2	2	2					1	
タ ン ザ ニ ア																			
チ ェ コ																			
中 国	2	3	1	7	3	4	11	9	28	3	9	8	10	12	15	10	15	10	
デ ン マ ー ク														1					
ド イ ツ										1				1		1			1
ト ル コ												1							
日 本						1													
ニ ュ ー ジ ー ラ ン ド													1						
ネ パ ー ル																			
ハ ン ガ リ ー																			
バ ン グ ラ デ ィ ッ シ ュ																			
フ ィ リ ピ ン									1	1									2
フ ィ ン ラ ン ド																			
ブ ラ ジ ル																			
フ ラ ン ス																			
ベ ト ナ ム																			
ベ ラ ル ー シ																			
ベ ル ー																			
ベ ル ギ ー																			
ポ ー ラ ン ド																			
香 港									1										
マ ル タ														1					
マ レ ー シ ア																			
ミ ャ ン マ ー														1					1
メ キ シ コ			1																
モ ロ ッ コ																			
モ ン ゴ ル																			
ユ ー ゴ ス ラ ビ ア																			
ロ シ ア																			
計	11	5	7	13	12	14	30	16	34	8	17	22	20	26	18	20	21	19	

留学生別科志願者・合格者・手続者・入学者数推移 国別②

単位(人)

西 暦	1994		1995		1996		1997		1998		1999		2000		2001		2002	
入 学 月	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10	4	9	4	9	4	9	4	9
志 願 者 数	29	33	50	50	35	45	44	42	47	49	59	66	47	95	78	105	80	58
合 格 者 数	21	26	22	22	26	27	24	21	21	27	23	27	24	31	28	24	27	21
手 続 者 数																		
入 学 者 数	16	24	19	17	20	25	21	17	14	27	21	24	18	27	27	20	21	19
男	10	13	10	13	6	20	13	7	4	15	9	14	8	13	8	9	9	7
女	6	11	9	4	14	5	8	10	10	12	12	10	10	14	19	11	12	12

入学者国別内訳

アイルランド																		1	
アメリカ		1				3	2	1		2		2		1	1	1			
イギリス					1														
イスラエル									1	1									
インド								1	1					1					
インドネシア																			1
オーストラリア										1								1	1
オーストリア												1							
オランダ																			
カナダ				1															
カメルーン											1								
韓国	5	2	3	4		3	2	4	2	2	1		4	1				1	
カンボジア																			
ジャマイカ																			
シンガポール																			1
スイス																			
スペイン													1						
スリランカ	1																		
タイ		2			1					1		1	2	2	2	1	2	1	
台湾	1			1	1		1			1	1	1		1	1				1
タンザニア							1												
チエ																			
中国	8	17	13	9	16	17	13	9	9	16	18	16	10	19	21	16	15	12	
デンマーク																			
ドイツ		1	2	1		2		1				1			1				2
トルコ																			
日本									1										
ニュージーランド																			
ネパール										1									
ハンガリー											1								
バングラディッシュ										1	1								
フィリピン																			
フィンランド										1									
ブラジル					1														
フランス				1									1	1					
ベトナム																1			2
ベラルーシ																			
ベルギー												1							
ポーランド												1							
香港				1				1											
マレーシア		1												1					
ミャンマー	1																		
メキシコ																			
モロッコ																			
モンゴル																		1	
ユーゴスラビア								1											
ロシア																			
計	16	24	19	17	20	25	21	17	14	27	21	24	18	27	27	20	21	19	

## 留学生別科志願者・合格者・手続者・入学者数推移 国別③

単位(人)

西 暦	2003		2004		2005		2006		2007		2008		2009		2010		2011	
	4	9	4	9	4	9	4	9	4	9	4	9	4	9	4	9	4	9
入 学 月	4	9	4	9	4	9	4	9	4	9	4	9	4	9	4	9	4	9
志 願 者 数	72	74	68	55	31	49	45	72	41	57	51	66	54	71	43	48	60	
合 格 者 数	25	20	21	21	17	28	19	33	19	34	25	36	21	38	20	26	27	
手 続 者 数							17	29	17	32	21	28	15	34	15	19	23	
入 学 者 数	20	18	14	16	13	17	11	17	10	19	11	22	9	31	13	18	20	
男	10	10	2	6	3	5	4	7	6	13	3	11	2	10	3	4	9	
女	10	8	12	10	10	12	7	10	4	6	8	11	7	21	10	14	11	

入学者国別内訳

( ) 内は予定数

ア イ ル ラ ン ド																		
ア メ リ カ	1	1			1	1			1		2		2					
イ ギ リ ス	1																	
イ ス ラ エ ル												1						
イ ラ ン																		
イ ン ド									2									
イ ン ド ネ シ ア																	1	
オ ー ス ト ラ リ ア											1							
オ ー ス ト リ ア																		
オ ラ ン ダ				1								1						
カ ナ ダ	1									1				1				
カ メ ル ー ン																		
韓 国		1				1	1		1				1					
カ ン ボ ジ ア		3																
ジ ャ マ イ カ				1														
シ ン ガ ポ ー ル								1			1							
ス イ ス																		
ス ベ イ ン				1														
ス リ ラ ン カ																		
タ イ			3	1	1					1		1		5	1			
台 湾					1		1	1	2	2	3	1	4	2	3			3
タ ン ザ ニ ア																		
チ ェ コ														1				
中 国	16	12	10	10	10	13	6	10	4	10	6	14	3	17	9	16	16	
デ ン マ ー ク														1				
ド イ ツ	1							2	3	1	1			1		1		
ト ル コ																		
日 本																		
ニ ュ ー ジ ー ラ ン ド																		
ネ パ ー ル		1																
ハ ン ガ リ ー												1						
バ ン グ ラ デ ィ ッ シ ュ				1														
フ ィ リ ピ ン																		
フ ィ ン ラ ン ド						1												
ブ ラ ジ ル										1								
フ ラ ン ス								1										
ベ ト ナ ム										1			1					
ベ ラ ル ー シ				1														
ベ ル ギ ー																		
ベ ル キ ー								1										
ポ ー ラ ン ド																	1	
香 港							1							1				
マ ル タ																		
マ レ ー シ ア																		
ミ ャ ン マ ー			1			1												
メ キ シ コ																		
モ ロ ッ コ												1						
モ ン ゴ ル										1								
ユ ー ゴ ス ラ ビ ア																		
ロ シ ア																		
計	20	18	14	16	13	17	11	17	10	19	11	22	9	31	13	18	20	0

## 留学生別科学生進路先

	2001		2002		2003		2004		2005		2006		2007		2008		2009		2010	
	前期	後期																		
本学へ進学（学部・大学院生など正規学生）	2	16	4	6	6	9	3	8	5	8	8	9	2	8	4	6	4	13	6	11
本学へ進学（研究生など非正規学生）				1		1		4	1							2	1			
他大学へ進学（学部・大学院生など正規学生）		3		4	1		1	2		1					2		1		1	
他大学へ進学（研究生など非正規学生）	3	3		0			1	2			2		1		1	1		1		
専門学校へ進学		3	2	2		1		2				2				4				
本学留学生別科延長申請	15	8	14	12	8	6	12	4	7		8	1	7	4	12	2	12		17	4
帰国	3	2	2	2	5	2	1	3	2		3	6	4	3	2	2	3	4	5	2
就職		0		0	1	1										2				
その他（未定者を含む）	1	4	2	7	3	2	2	1		2	1	1		1	2	2		1		11
合計（人）	24	39	24	34	24	22	20	26	15	11	22	19	14	16	21	23	20	20	28	29

	2001		2002		2003		2004		2005		2006		2007		2008		2009		2010	
	前期	後期																		
本学へ進学（学部・大学院生など正規学生）		2		1					1		1				2		2			
本学へ進学（研究生など非正規学生）					1															
他大学へ進学（学部・大学院生など正規学生）															2					1
他大学へ進学（研究生など非正規学生）	2	1			1															
専門学校へ進学					1															
本学留学生別科延長申請																				
帰国					3						1						1	1	1	
就職			1																	
その他（未定者を含む）					1															
合計（人）	2	3	1	1	7	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	4	0	3	1	2

## 交換留學生數推移（派遣） 学部別

單位（人）

学 部 名	2006	2007	2008	2009	2010	合 計
文 学 部	13	11	3	8	15	50
文 学 研 究 科	3	1	1	4		9
經 济 学 部	1	6	9	5	8	29
經 济 学 研 究 科	1			0		1
經 营 学 部	7	7	8	10	5	37
法 学 部	5	2	6	7	3	23
法 学 研 究 科				1		1
理 工 学 部	1			0	1	2
理 工 学 研 究 科	1	1	2	1	2	7
社 会 学 部	2	1		0		3
国 際 文 化 学 部	13	16	12	21	22	84
国 際 文 化 学 研 究 科	1	2	1	0		4
法 務 研 究 科				1		1
短 期 大 学 部		1		0		1
合 計（人）	48	48	42	58	56	252

## 私費留学生数推移（派遣） 学部別

単位（人）

学部名	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
文学部	8	7	3	5	1	2	1	1	1	
文学研究科	4		4			1	1			
経済学部	6	6	1	5	3	2	1	2	1	
経営学部	1		4	2	2	1		1		
法学部	5	3	5	3	1		1	1	1	1
法学研究科							1			
理工学部										
社会学部						1				
国際文化学部	48	47	83	113	101	120	86	90	52	66
国際文化学研究科	1	1	1		1					
短期大学部										
合計（人）	73	64	101	128	109	127	91	95	55	67

## BIEプログラム参加者数推移 学部別

単位（人）

学部名	2006		2007		2008		2009		2010	
	semester	5-week								
文学部	5	12	14	8	13	9	11	16	3	11
文学研究科										
経済学部	6	4	7	7	9	11	4	5	11	10
経営学部	4	10	7	13	8	3	4	3	5	12
法学部	2	11	3	3	4	10	4	3	3	4
法学研究科										
理工学部		3	1	6		1				5
社会学部	3	7	5	4	4	4	5	8	3	1
国際文化学部	18	12	30	5	16	10	26	8	20	9
国際文化学研究科										
短期大学部				1						
合計（人）	38	59	67	47	54	48	54	43	45	52

## 私費留学生数推移（派遣） 国別

単位（人）

地域	留学先	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
アジア	インドネシア	1									
	韓国	2		3	2		1	1		7	4
	シンガポール					1			1		
	タイ	1		2	1	1			1		
	台湾					1	1		1		1
	中国	15	14	8	8	9	6	4	2	4	4
	ネパール								1		
	マレーシア		1		1						
中南米	メキシコ		1								
中近東	レバノン				1						
北米	アメリカ	16	6	14	16	15	17	14	24	6	11
	カナダ	11	9	13	27	26	34	22	27	11	11
オセアニア	オーストラリア	4	9	33	44	37	39	31	23	10	12
	ニュージーランド	1	2	7	9	2	7	6	6	6	12
ヨーロッパ	アイルランド			2	4	3	2	2			
	ウクライナ	1									
	英国	11	4	11	8	9	6	6		2	1
	スウェーデン	1		1							3
	スペイン		2			1					
	ドイツ	1			2						
	フランス	8	16	7	5	4	13	4	10	9	8
	マルタ						1				
合計（人）		73	64	101	128	109	127	91	95	55	67

